

事 務 連 絡
令和 6 年 4 月 19 日

各都道府県教育委員会指導事務主管課
各指定都市教育委員会指導事務主管課
各都道府県私立学校事務主管課 御中
附属学校を置く各国立大学法人附属学校事務主管課
附属学校を置く各公立大学法人附属学校事務主管課

文部科学省初等中等教育局教育課程課

令和 6 年度小学校及び中学校各教科等担当指導主事連絡協議会
の開催について（依頼）

文部科学省では、学習指導要領の趣旨の実現に資するため、標記協議会を実施要項（別添 1）のとおり開催します。標記協議会に係る提出資料等については、下記のとおりとします。

本年度も可能な限り多くの方にご参加いただけるよう、参集参加のみならず、オンラインによる参加も可能とするとともに、文部科学省の行政説明については、後日、オンデマンド配信を行う予定です。オンデマンド配信については、本協議会の参加対象者のみならず、市町村教育委員会も視聴することが可能ですので、各都道府県教育委員会におかれましては、域内の市町村教育委員会に対し、この旨を周知し、積極的な視聴について依頼していただくようお願いいたします。

※本協議会は、各都道府県・指定都市教育委員会の指導主事を主な参加者として念頭においておりますので、各都道府県・指定都市教育委員会の指導主事の皆様におかれましては、積極的な参加をご検討いただけますようお願いいたします。その際、令和 5 年度の参加者アンケートにおいて、参集参加者の方が本協議会に対する満足度が約 10 ポイント程度高かったこと、インターネット通信環境の安定化には万全の対策を講じますが、一定程度不具合が生じうる可能性があること等を踏まえ、可能な限り参集による参加をご検討いただけますと幸いです。

※国立・公立大学法人附属学校の担当者の皆様におかれましては、地域のモデル校として授業研究等の優れた取組を行うことが求められている附属学校の役割を踏まえ、学習指導要領に関する適切な理解の下に先導的な取組を推進いただく観点から、可能な範囲で参加（参集又はオンライン）又はオンデマンド配信視聴についてご検討いただけますと幸いです。

※私立学校協会、私立学校等におかれましては、上記の協議会の位置づけについてご理解の上で、参加の可否についてご検討ください。

記

1 提出資料

（1）参加者名簿及びオンデマンド配信視聴希望申請書

本協議会への参加者及びオンデマンド配信視聴希望について、別添 1 及び別添 3 を確認の上、【別紙様式 1】により提出すること。

（2）教育課程に関する質問事項及び考え方

質問事項がある場合は、別添 4 を確認の上、【別紙様式 2】により教育課程に関する質問事項及び都道府県市等としての考え方を付して提出すること。

※質問事項がない場合には、提出は不要。

(3) 各部会における提出資料

別添5及び別添6を確認の上、部会ごとに必要な資料を作成し、提出すること。

2 提出期限

(1) 参加者名簿及びオンデマンド配信視聴希望申請書【別紙様式1】…5月9日(木)

(2) 教育課程に関する質問事項及び考え方【別紙様式2】…5月9日(木)

(3) 各部会における提出資料【別紙様式3～9、その他提出資料】…5月16日(木)

※提出期限までに提出が困難な場合は、事前に連絡すること。

3 提出方法

1の提出資料について、それぞれ下表の左欄の参加者の区分に応じ、右欄の者において取りまとめて提出すること。

なお、1(3)の「各部会における提出資料」については、別途の指定がない限り、協議ごとと一つのpdfファイル(例：小学校国語部会の協議①の提出資料で一つのpdfファイル、同部会の協議②の提出資料で一つのpdfファイル等)にまとめて提出すること。(※詳細は別添3～5を参照のこと)

参加者の区分	とりまとめ
各都道府県・指定都市教育委員会	各都道府県・指定都市教育委員会
国立・公立大学法人附属学校	附属学校を置く各国公立大学法人
都道府県私立学校担当部局、都道府県私立学校協会及び私立学校等	各都道府県私立学校担当部局

4 提出先

(1) 参加者名簿及びオンデマンド配信視聴希望申請書【別紙様式1】および

教育課程に関する質問事項及び考え方【別紙様式2】

クラウドストレージサービス「Box」内の指定フォルダに提出し、提出が完了次第、その旨を教育課程課教育課程第三係(kyoiku3@mext.go.jp)宛てに電子メールで報告すること。その際、電子メールの件名は以下とする。

※「Box」内への提出ができない場合は、ファイルを直接教育課程課教育課程第三係宛てに電子メールで提出すること。

※クラウドストレージサービス「Box」のURL等については、別添3、別添4を参照すること。

とりまとめ	電子メールの件名
各都道府県・指定都市教育委員会	都道府県・指定都市番号(半角。一桁番台の場合は冒頭に0を付して2桁とすること。)、【〇〇県(公)/〇〇市(公)】、小中協議会 (例) 01【北海道(公)】小中協議会
附属学校を置く各国公立大学法人	法人が所在する都道府県・指定都市番号(半角。一桁番台の場合は冒頭に0を付して2桁とすること。)、【〇〇大(国)/〇〇大(公)】、小中協議会 (例) 13【学芸大(国)】小中協議会

各都道府県私立学校担当部局	都道府県・指定都市番号（半角。一桁番台の場合は冒頭に0を付して2桁とすること。）、【〇〇県（私）／〇〇市（私）】、小中協議会 （例）14【神奈川県（私）】小中協議会
---------------	---

（２）各部会における提出資料【別紙様式３～９、その他提出資料】

クラウドストレージサービス「Box」内の各部会フォルダに提出し、全ての部会の資料提出が完了次第、その旨を教育課程課教育課程第三係（kyoiku3@mext.go.jp）宛てに電子メールで報告すること。その際、電子メールの件名は以下とする。

※「Box」内への提出ができない場合は、ファイルを直接教育課程課教育課程第三係宛てに電子メールで提出すること。

※クラウドストレージサービス「Box」のURL等については、別添５を参照すること。

とりまとめ	電子メールの件名
各都道府県・指定都市教育委員会	都道府県・指定都市番号（半角。一桁番台の場合は冒頭に0を付して2桁とすること。）、【〇〇県（公）／〇〇市（公）】、小中協議会、協議題資料提出 （例）01【北海道（公）】小中協議会 協議題資料提出
附属学校を置く各国公立大学法人	法人が所在する都道府県・指定都市番号（半角。一桁番台の場合は冒頭に0を付して2桁とすること。）、【〇〇大（国）／〇〇大（公）】、小中協議会、協議題資料提出 （例）13【学芸大（国）】小中協議会 協議題資料提出
各都道府県私立学校担当部局	都道府県・指定都市番号（半角。一桁番台の場合は冒頭に0を付して2桁とすること。）、【〇〇県（私）／〇〇市（私）】、小中協議会、協議題資料提出 （例）14【神奈川県（私）】小中協議会 協議題資料提出

５ 資料について

（１）各部会資料等は、文部科学省より各部会開催の１週間前までに参加者に電子メールにて送付する予定である。部会当日に紙媒体の配布は行わないので、参集する参加者においては留意すること。

（２）（１）の電子メールが各部会開催の１週間前を過ぎても届かない場合には、教育課程課教育課程第三係に問い合わせること。

【本件担当】

文部科学省初等中等教育局教育課程課
教育課程第三係（木村、青山）

電話：０３－５２５３－４１１１（内線３７０６）

電子メールアドレス：kyoiku3@mext.go.jp

令和 6 年度小学校及び中学校各教科等担当指導主事連絡協議会 実 施 要 項

1 目 的

小学校及び中学校学習指導要領の趣旨の実現を目指し、教育課程の編成及び実施上の諸問題に関する説明、協議、情報交換等を行い、もって小学校及び中学校における教育課程の適切な実施を図ることを目的とする。

2 主 催

文部科学省

3 共 催

国立教育政策研究所

4 部会構成

(小学校) 次の 1 4 部会とする。

「総則」「国語」「社会」「算数」「理科」「生活」「音楽」「図画工作」「家庭」「体育」「外国語活動・外国語」「道徳」「総合的な学習の時間」「特別活動」

(中学校) 次の 1 3 部会とする。

「総則」「国語」「社会」「数学」「理科」「音楽」「美術」「保健体育」「技術・家庭」「外国語」「道徳」「総合的な学習の時間」「特別活動」

※中学校「技術・家庭」部会については、技術分野と家庭分野で別日とする。

※「総則」部会、「家庭」部会、「道徳」部会、「総合的な学習の時間」部会は、小・中学校合同開催とする。

5 期 日

6 月 1 0 日 (月)	「小・算数」「小・外国語活動・外国語」
6 月 1 1 日 (火)	「小・音楽」「中・数学」「中・外国語」
6 月 1 2 日 (水)	「小中・総則」「小・体育」「中・音楽」
6 月 1 3 日 (木)	「小・生活」「小・図画工作」「中・保健体育」
6 月 1 4 日 (金)	「小中・総合的な学習の時間」「中・美術」
6 月 1 7 日 (月)	「小・社会」「小・理科」
6 月 1 8 日 (火)	「小・国語」「小・特別活動」「中・社会」「中・理科」
6 月 1 9 日 (水)	「中・国語」「中・技術」「中・特別活動」
6 月 2 1 日 (金)	「小中・家庭」「小中・道徳」

6 日 程

9:30	10:00	12:00	13:30	15:30	16:00
受 付	部 会 ①	休 憩	部 会 ②	講 評	

※日程の詳細については、部会ごとに異なる。

7 開催方法

協議会は、Zoom を使用し、ハイブリッド形式（参加者が会場への参集又はオンラインでの参加を選択する形式）により開催する。

8 会 場

独立行政法人国立青少年教育振興機構国立オリンピック記念青少年総合センター
（東京都渋谷区代々木神園町3-1）

小・中学校 総 則	6月12日（水） センター棟501	小・中学校 総合的な学習の時間	6月14日（金） センター棟501
小 学 校 国 語	6月18日（火） センター棟416	小 学 校 特 別 活 動	6月18日（火） センター棟501
小 学 校 社 会	6月17日（月） センター棟102	中 学 校 国 語	6月19日（水） センター棟416
小 学 校 算 数	6月10日（月） センター棟311	中 学 校 社 会	6月18日（火） センター棟102
小 学 校 理 科	6月17日（月） センター棟311	中 学 校 数 学	6月11日（火） センター棟311
小 学 校 生 活	6月13日（木） センター棟501	中 学 校 理 科	6月18日（火） センター棟311
小 学 校 音 楽	6月11日（火） センター棟416	中 学 校 音 楽	6月12日（水） センター棟416
小 学 校 図 画 工 作	6月13日（木） センター棟416	中 学 校 美 術	6月14日（金） センター棟402
小・中学校 家 庭	6月21日（金） センター棟311	中 学 校 保 健 体 育	6月13日（木） センター棟311
小 学 校 体 育	6月12日（水） センター棟102	中 学 校 技 術	6月19日（水） センター棟311
小 学 校 外国語活動・外国語	6月10日（月） センター棟501	中 学 校 外 国 語	6月11日（火） センター棟501
小・中学校 道 徳	6月21日（金） センター棟501	中 学 校 特 別 活 動	6月19日（水） センター棟501

※会場の所在地、連絡先、案内図等については、別添2を参照のこと。

9 参加者等

(1)対象者

①都道府県・指定都市教育委員会

各都道府県・指定都市において下記の者から選出することとする。

- i) 各都道府県・指定都市教育委員会の各教科等担当指導主事
- ii) 各都道府県・指定都市において指導的立場にある教員のうち、都道府県又は指定都市教育委員会の推薦する者

②国立・公立大学法人附属学校

参加を希望する国立・公立大学法人附属学校の校長、教頭又は教員

③都道府県私立学校担当部局、私立学校協会及び私立学校等

参加を希望する都道府県私立学校担当部局、私立学校協会及び私立学校等の担当者

(2)人数

参加者として登録する者（協議に参加し、発言する者）については、上記(1)①～③の区分ごとに原則以下の通りとし、参加者は参加方法（参集又はオンライン）を選択すること。

- ・1部会につき1名とする。
- ・中学校技術・家庭部会については、技術分野と家庭分野で別日とするため、技術分野担当、家庭分野担当各1名とする。
- ・総則部会、家庭部会、道徳部会、総合的な学習の時間部会については、小・中学校合同開催とするため、各部会につき2名が参加することも可能とする。
- ・特段の事情により参加者を上記人数より増やしたい希望がある場合は、参加者登録の際に別途相談すること。
- ・参加者の登録が終了した後、諸事情により、参加者の出席が叶わなくなった場合は、速やかに教育課程課教育課程第三係に報告すること。

10 各部会における行政説明のオンデマンド配信視聴について

(1)対象者

①各都道府県・指定都市教育委員会の指導主事等

②国立・公立大学法人附属学校の校長、教頭又は教員

③都道府県私立学校担当部局、私立学校協会及び私立学校等の担当者

④市町村教育委員会の指導主事

※①②③の各都道府県・指定都市教育委員会等においては、参加者以外の者が、オンデマンド配信の視聴を希望する場合は、(3)の方法により申請すること。

※各都道府県教育委員会は、域内の市町村教育委員会に対して周知すること。

(2)配信内容の範囲及び配信方法

全ての部会において、文部科学省による行政説明の部分について、後日オンデマンド配信を行う。全部会終了日である6月21日から3週間以内に、文部科学省youtubeサイトに限定公開かつ期間限定（1か月程度）で動画を掲載する予定である。掲載後、youtubeリンク等の視聴方法について、(3)により申請のあった各都道府県・指定都市教育委員会等に送付する。申請のあった市町村教育委員会に対しては、各都道府県教育委員会を通じて上記リンク等を連絡することとする。

(3)申請にあたっての留意事項

- ・(1)①②③の各都道府県・指定都市教育委員会等は、視聴希望のある場合、【別紙様式1】により申請すること。
- ・(1)④市町村教育委員会の視聴希望は、各都道府県教育委員会がとりまとめて申請すること。

令和6年度小学校及び中学校各教科等担当指導主事連絡協議会
会 場 所 在 地 ・ 連 絡 先 ・ 案 内 図

○国立オリンピック記念青少年総合センター

住 所：東京都渋谷区代々木神園町3-1

TEL：03-3469-2525

＜最寄り駅から＞

- ・ 小田急線 参宮橋駅下車 徒歩約7分
- ・ 地下鉄千代田線 代々木公園駅下車(代々木公園方面4番出口) 徒歩約10分

＜京王バス＞

- ・ 新宿駅西口(16番)より 代々木5丁目下車
- ・ 渋谷駅西口(40番)より 代々木5丁目下車

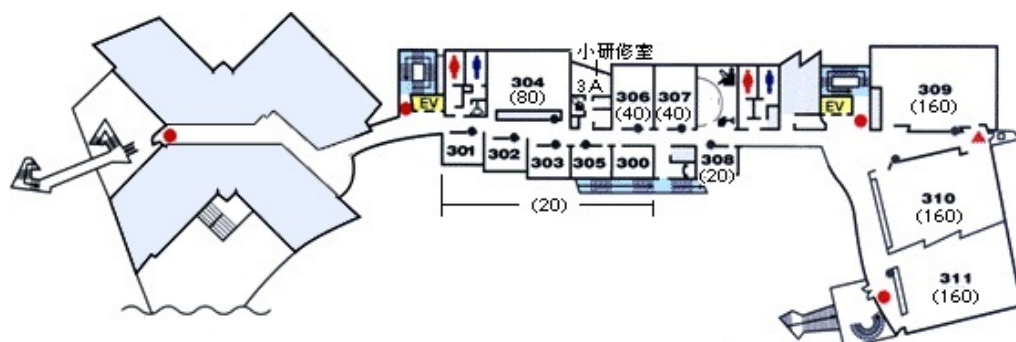


会場平面図

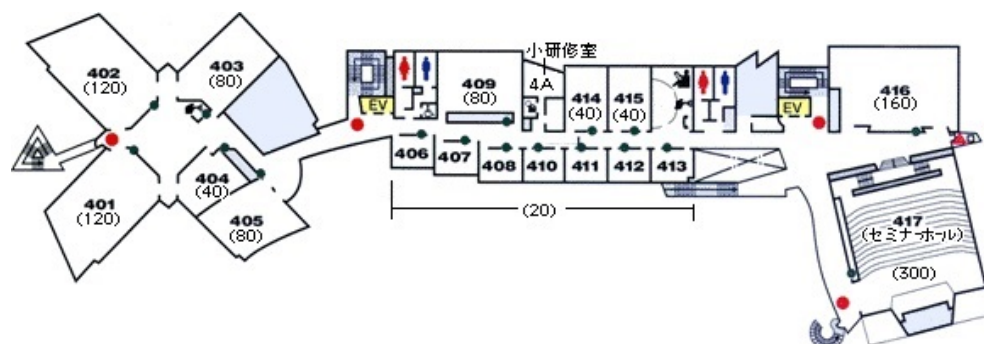
1F



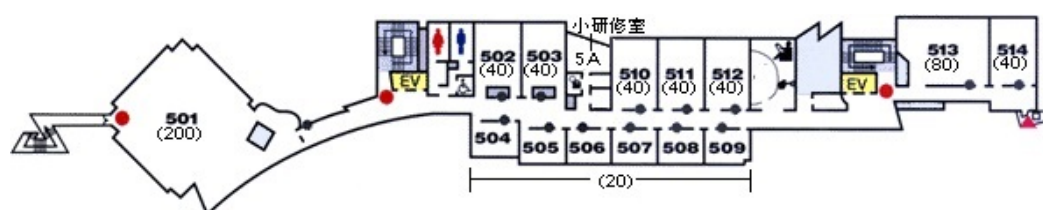
3F



4F



5F



参加者名簿及びオンデマンド配信視聴希望申請書【別紙様式 1】の 作成及び提出方法について

1-1 参加者名簿の作成について

以下の①～⑨の要領で作成すること。

- ① 1 列目には都道府県・指定都市番号、附属校等の場合は学校コードの先頭 5 桁を半角数字で、2 列目には都道府県・指定都市名を記入すること。いずれも参加者全員について記入することとし、空白や「/」などとはしないこと。「都」「道」「府」「県」「市」は省略しないこと。
- ② 3 列目にはドロップダウンリストから国立、公立、私立を選択すること。
- ③ 4 列目には氏名を、5 列目にはふりがなを、6 列目には所属及び職名を記入すること。姓と名の間及び所属と職名の間は全角で 1 文字空けること。
- ④ 7 列目には指導主事として従事した通算年数を記入すること。
- ⑤ 8 列目には日常の業務で担当している校種及び教科等を記入すること。
- ⑥ 9 列目にはドロップダウンリストから部会名を選択して記入すること。後日、部会ごとの参加者名簿を作成するため、部会名については必ずドロップダウンリストから選択し、誤りがないよう記入すること。
※中学校「技術・家庭部会」は、技術分野・家庭分野で選択肢が分かれているので、特に誤りがないよう記入すること。
- ⑦ 10 列目にはドロップダウンリストから参加方法を選択して記入すること。
- ⑧ 11 列目には参加者本人に連絡可能なメールアドレスを記入すること。後日、このメールアドレスに部会ごとの資料等を電子データで送付するので、必ず参加者本人に連絡できるメールアドレスを記入すること。
- ⑨ 12 列目には特記事項があれば記入すること。

<留意事項>

- 外字は使用しないこと。代替可能な文字がない場合は、メールで送信するファイルでは当該文字を「?」とし、併せて PDF 化した名簿をメールで送信すること。
- 文字のセンタリングや均等割付、罫線等の装飾は行わないこと。

1-2 オンデマンド配信視聴希望申請書の作成について

以下の①～③の要領で作成すること。

- ① 「オンデマンド配信視聴希望」の欄に、ドロップダウンリストから○又は×を選択し記入すること。
- ② 「主な視聴希望者」の欄に、ドロップダウンリストから選択し記入すること。
- ③ ②において「市町村教育委員会」又は「都道府県教育委員会＋市町村教育委員会」を選択した場合は、「視聴を希望する市町村教育委員会数／管内の市町村数」の欄に、視聴を希望する市町村教育委員会数（A）、管内の市町村数（B）を、（A）／（B）の形式で記入すること。なお、視聴希望数が確定していない場合は、見込みの数を記入すること。

<留意事項>

- 市町村教育委員会の視聴希望は、各都道府県が取りまとめて申請すること。

2 提出方法について

クラウドストレージサービス「Box」内の指定フォルダに提出し、提出が完了次第、教育課程課教育課程第三係（koyoiku3@mext.go.jp）宛てに電子メールでその旨を報告すること。

- 「Box」提出フォルダ

<https://mext.ent.box.com/f/8d8e8cdfc7b14d9388937d75b8ee5c4d>

- ファイル名については、以下のとおりとする。

- ・都道府県・指定都市教育委員会の場合

都道府県・指定都市番号【都道府県市名（公）】小中協議会参加者名簿

＜記入例＞01【北海道（公）】小中協議会参加者名簿

- ・国立・公立大学法人附属学校の場合

学校コードの先頭5桁【学校名（国・公）】小中協議会参加者名簿

＜記入例＞C1131【東京学芸大学附属竹早中（国）】小中協議会参加者名簿

- ・都道府県私立学校担当部局等の場合

都道府県・指定都市番号【都道府県名（私）】小中協議会参加者名簿

＜記入例＞20【長野県（私）】小中協議会参加者名簿

3 その他

- 都道府県・指定都市番号について

01 北海道	02 青森県	03 岩手県	04 宮城県
05 秋田県	06 山形県	07 福島県	08 茨城県
09 栃木県	10 群馬県	11 埼玉県	12 千葉県
13 東京都	14 神奈川県	15 新潟県	16 富山県
17 石川県	18 福井県	19 山梨県	20 長野県
21 岐阜県	22 静岡県	23 愛知県	24 三重県
25 滋賀県	26 京都府	27 大阪府	28 兵庫県
29 奈良県	30 和歌山県	31 鳥取県	32 島根県
33 岡山県	34 広島県	35 山口県	36 徳島県
37 香川県	38 愛媛県	39 高知県	40 福岡県
41 佐賀県	42 長崎県	43 熊本県	44 大分県
45 宮崎県	46 鹿児島県	47 沖縄県	48 札幌市
49 仙台市	50 さいたま市	51 千葉市	52 川崎市
53 横浜市	54 相模原市	55 新潟市	56 静岡市
57 浜松市	58 名古屋市	59 京都市	60 大阪市
61 堺市	62 神戸市	63 岡山市	64 広島市
65 北九州市	66 福岡市	67 熊本市	

※ 国公立大学法人については、13桁の学校コードの先頭5桁を記入すること。

（参考）＜学校コード検索サイト＞

[文部科学省 学校コードに基づく学校コード検索（edu-data.jp）](http://www.mext.go.jp/edu-data)

教育課程に関する質問事項及び考え方【別紙様式 2】 の作成及び提出方法について

1 趣旨

教育課程に関する質問のうち、部会全体で考え方を確認・共有すべき事項がある場合、当日、可能な範囲で精選して回答するものである。

2 作成について

- 別紙様式 2 により、各部会の質問事項をまとめて 1 つのシートで作成すること。
- 所定の欄に、都道府県・指定都市番号または学校コードの先頭 5 桁（別添 3 参照）、都道府縣市名・学校名等（国立・公立大学法人附属学校や都道府県私立学校担当部局等は学校名等）を記入し、部会名をドロップダウンリストから選択すること。
- 「質問事項」欄には、教育課程に関して部会全体で考え方を確認・共有すべき文部科学省に対する質問がある場合は部会ごとに 3 問を限度として簡潔に質問内容を記述すること。なお、質問事項がない場合、提出の必要はない。
- 「考え方」欄には、質問事項について問合せがあった際、どのような回答を行っているかなど、都道府縣市等としての考え方を記述すること。

3 提出方法について

クラウドストレージサービス「Box」内の指定フォルダに提出し、提出が完了次第、教育課程課教育課程第三係（kyoiku3@mext.go.jp）宛てに電子メールでその旨を報告すること。

- 「Box」提出フォルダ
<https://mext.ent.box.com/f/ce2a1d6bd5014df0a5fe51afdd319d234>
- ファイル名については、以下のとおりとする。
 - ・ 都道府県・指定都市教育委員会の場合

都道府県・指定都市番号【都道府縣市名（公）】小中協議会質問事項

＜記入例＞01【北海道（公）】小中協議会質問事項
 - ・ 国立・公立大学法人附属学校の場合

学校コードの先頭 5 桁【学校名（国・公）】小中協議会質問事項

＜記入例＞C1131【東京学芸大学附属竹早中（国）】小中協議会質問事項
 - ・ 都道府県私立学校担当部局等の場合

都道府県・指定都市番号【都道府県名（私）】小中協議会質問事項

＜記入例＞20【長野県（私）】小中協議会質問事項

各部会における提出資料の作成及び提出方法について

1 作成について

- 別添 6 を確認の上、部会ごとに必要な資料を作成すること。
- 所定の欄に、部会名、都道府県・指定都市名（国立・公立大学法人附属学校や都道府県私立学校担当部局等は学校名等）、都道府県・指定都市番号または学校コードの先頭 5 桁（別添 3 参照）、担当指導主事名（国立・公立大学法人附属学校や都道府県私立学校担当部局等は参加者名）を記入すること。
- 国立・公立大学法人附属学校や都道府県私立学校担当部局等からの参加者についても、可能な範囲で作成し、提出すること。

2 提出方法について

クラウドストレージサービス「Box」内の各部会フォルダに提出し、全ての部会の資料提出が完了次第、その旨を教育課程課教育課程第三係（koyoiku3@mext.go.jp）宛てに電子メールで報告すること。ただし、「Box」内への提出ができない場合は、ファイルを直接教育課程課教育課程第三係宛てに電子メールで提出すること。各部会フォルダのリンクは次頁の表を参照すること。

※ファイルは別途の指定がない限り、協議題ごとに一つの pdf ファイル（例：小学校国語部会の協議①で一つの pdf ファイル、小学校国語部会の協議②で一つの pdf ファイル等）にまとめて提出すること。

- ファイル名については、以下のとおりとする。

- ・都道府県・指定都市教育委員会の場合

都道府県・指定都市番号【都道府県市名（公）】小中協議会提出資料（部会名）

＜例＞01【北海道（公）】小中協議会提出資料①（小・国語）

01【北海道（公）】小中協議会提出資料②（小・国語）

- ・国立・公立大学法人附属学校等の場合

学校コードの先頭 5 桁【学校名（国・公）】小中協議会提出資料（部会名）

＜例＞C1131【東京学芸大学附属竹早中（国）】小中協議会提出資料①（小・国語）

C1131【東京学芸大学附属竹早中（国）】小中協議会提出資料②（小・国語）

- ・都道府県私立学校担当部局等の場合

都道府県・指定都市番号【都道府県名（私）】小中協議会提出資料（部会名）

＜例＞20【長野県（私）】小中協議会提出資料①（小・国語）

20【長野県（私）】小中協議会提出資料②（小・国語）

※「その他提出資料」の場合は「その他提出資料」とし、協議の提出資料に併せて提出するよう依頼された補足資料等の場合は「（部会名）」の後にその旨追記すること。

＜例＞01【北海道（公）】小中協議会その他提出資料

01【北海道（公）】小中協議会提出資料①（小・国語）補足資料

部会名	フォルダリンク
小中・総則	https://mext.ent.box.com/f/8627f98be1c44cf6b6347688910205eb
小・国語	https://mext.ent.box.com/f/349d1719938d498e8b35dc6507cacdf0
小・社会	https://mext.ent.box.com/f/db6021ece551477db79339504abe4e3e
小・算数	https://mext.ent.box.com/f/19c19a09e36c43eb8b5d023fd1cf8368
小・理科	https://mext.ent.box.com/f/db6bd0354e01467ba1d9539ca6c6241e
小・生活	https://mext.ent.box.com/f/4ea7f42a49e14f9b8407f57b766e83d3
小・音楽	https://mext.ent.box.com/f/065369f1f8d54051a52871063bb96e2c
小・図画工作	https://mext.ent.box.com/f/35cf515ed9a64f7e9bcb6fb78e36126e
小中・家庭	https://mext.ent.box.com/f/87968b12857d41e1b47f2dab7a894638
小・体育	https://mext.ent.box.com/f/5d939a1e3efd41e881350a8918d82446
小・外国語活動・外国語	https://mext.ent.box.com/f/f97b760cf35d413d83aee7ed840656a1
小中・道徳	https://mext.ent.box.com/f/af2ba55ab44e4f70ac631d8f35b1fa0a
小中・総合的な学習の時間	https://mext.ent.box.com/f/7ce40aec741c41a0b4d187387107d294
小・特別活動	https://mext.ent.box.com/f/0b35b39dba7e488a8b01c3ba9e6ef90a
中・国語	https://mext.ent.box.com/f/08ca1052d4e5497e999cf14c3cf0760f
中・社会	https://mext.ent.box.com/f/fb5d89832ea24504a98b28a1e2d3668b
中・数学	https://mext.ent.box.com/f/1d1f318d14d649149c9b8ca2353b9e27
中・理科	https://mext.ent.box.com/f/c1966bbb70804fa99f722d31f23f836c
中・音楽	https://mext.ent.box.com/f/c268965604684fb59016378bf9e30264
中・美術	https://mext.ent.box.com/f/0e43eff10f534d63b2a93d6b5d2842ce
中・保健体育	https://mext.ent.box.com/f/39baa400584c449c8f1c3b31be5021ce
中・技術	https://mext.ent.box.com/f/66e1a40dd618408194b41b141e3d9917
中・外国語	https://mext.ent.box.com/f/3bfbb489e72f47a09950f71dc163588f
中・特別活動	https://mext.ent.box.com/f/3b429eab519647b1b08fa640c14e4a91

令和6年度小学校及び中学校各教科等担当指導主事連絡協議会
【各部会における協議資料及びその他の提出資料】

小中 総則部会

協議①		
	協議題	学習指導要領総則の趣旨実現における重要課題と具体策について
	趣旨	学習指導要領の趣旨の実現に当たっては、地域によって様々な課題があるが、効果的な課題解決に結びつけていくためには、学習指導要領の趣旨を啓発するといった対策に留まらず、各学校が教育課程を編成することや、教師が授業を構想し実施するプロセスを俯瞰的に理解し、その中で学習指導要領が果たしうる役割やその効果的な活用方法について一人一人の指導主事が考えていくことが重要である。 こうした視点から、各学校における教育課程の編成と実施、教師の授業づくりに影響を与える要素(一人一台端末、クラウド等の活用を含む)を洗い出し、要素間の関係を可視化しながら、各自治体等における学習指導要領総則の趣旨実現に向けた重要課題やその解決策について協議する。
	提出資料	域内の小中学校において、教育課程の編成と実施及び教師が授業を構想し実施するまでのプロセスやそれを支える様々な働きを可視化するとともに、それを踏まえた各自治体等における学習指導要領総則の趣旨実現に向けた最重要課題等を別紙様式によりまとめる。
	作成様式	別紙様式4(自治体用)、別紙様式5(附属学校等用)
	提出資料作成に当たっての留意事項	各学校における教育課程の編成と実施、教師の授業づくりに影響を与える要素及び要素間の関係について、できるだけ具体的に記入し、それらに影響を与える自治体及び国(附属学校等は国のみ)の取組について記入すること。サンプル(別紙1)を提供するのでそれを参考に作成頂いてよいが、書きやすいよう工夫頂いて差し支えない。手書きの方が作成が容易であれば、様式を印刷の上手書きで作成し、スキャンした上でPDFで提出しても差し支えない。
その他部会当日に手元 用意しておく資料	①	資料名
		①小学校学習指導要領(平成29年告示) ②中学校学習指導要領(平成29年告示) ③小学校学習指導要領(平成29年告示)解説 総則編 ④中学校学習指導要領(平成29年告示)解説 総則編
	①	用意しておく箇所
		資料全体
		インターネットでの掲載場所
		① https://www.mext.go.jp/content/1413522_001.pdf ② https://www.mext.go.jp/content/1413522_002.pdf ③ https://www.mext.go.jp/component/a_menu/education/micro_detail/_icsFiles/afieldfile/2019/03/18/1387017_001.pdf ④ https://www.mext.go.jp/content/220221-mxt_kyoiku02-100002180_003.pdf

令和6年度小学校及び中学校各教科等担当指導主事連絡協議会 【各部会における協議資料及びその他の提出資料】

小学校 国語部会

協議①			
協議題		小学校国語科における学習指導要領の趣旨の更なる実現に向けて① ー生きて働く「知識及び技能」(語彙)の習得についてー	
趣旨		年間の指導を視野に入れた、「知識及び技能」(語彙)の習得に向けて、学習指導要領の趣旨の実現に向けた更なる取組の充実を目指す。	
提出資料		・貴管内(附属校等の場合は貴校)において実践された、年間の指導を意識して「知識及び技能」の習得に取り組まれていると判断できる好事例の学習指導案(1時間分)	
作成様式		別紙様式3 ※共通様式	
提出資料作成に当たった留意事項		(1)持ち寄る学習指導案については、次の①～③の条件に沿うものであること ①指導事項「語彙」を単元の目標に掲げた実践で、本時にその評価場面が含まれているもの ②単元全体の指導と評価の計画と、単元のつながりや学習歴(児童の姿)がわかるようになっているもの ③参加者が実践の実際を説明できるもの ※一人一台端末を活用した事例については、活用の仕方等がわかるよう明記すること。 (2)学習指導案の冒頭に貴校が好事例と判断した理由を簡潔に明記すること ※附属校等の持ち寄る実践については、授業後にその実践についての協議が行われ、成果と課題が明らかになっているものが望ましい。ただし、協議は校内外を問わない。この成果と課題を(2)に代えてもよい。 ※持ち寄る実践の選定にあたっては、「小学校学習指導要領(平成29年告示)解説 国語編」のp.155 [知識及び技能]に関する配慮事項を参考にすること。 ※適切な実践事例が無い場合には、自治体が作成した学習指導案や指導主事が考えた学習指導案でも構わない。(ただし、その旨を冒頭に明記すること) 【協議の進め方】 ・小グループを作り、持ち寄った事例の共有後、学習指導要領の趣旨の実現を図るために、年間の指導を意識した「知識及び技能」(語彙)について、どのような指導助言を行うべきか協議する。 ・グループで1つの実践を選び、協議の結果を反映した指導助言を学習指導案に書き込む。 ・各グループで指導助言を書き込んだ資料を使って協議報告を行い、各資料は成果として持ち帰り後日全体でも共有する。	
協議②			
協議題		小学校国語科における学習指導要領の趣旨の更なる実現に向けて② ー生きて働く「知識及び技能」(情報と情報との関係、情報の整理)の習得についてー	
趣旨		年間の指導を視野に入れた、「知識及び技能」(情報と情報との関係、情報の整理)の習得に向けて、学習指導要領の趣旨の実現に向けた更なる取組の充実を目指す。	
提出資料		・貴管内(附属校等の場合は貴校)において実践された、年間の指導を意識して「知識及び技能」の習得に取り組まれていると判断できる好事例の学習指導案(1時間分)	
作成様式		別紙様式3 ※共通様式	
提出資料作成に当たった留意事項		(1)持ち寄る学習指導案については、次の①～③の条件に沿うものであること ①指導事項「情報と情報との関係」あるいは「情報の整理」、またはその両方を単元の目標に掲げた実践で、本時にその評価場面が含まれているもの ②単元全体の指導と評価の計画と、単元のつながりや学習歴(児童の姿)がわかるようになっているもの ③参加者が実践の実際を説明できるもの ※一人一台端末を活用した事例については、活用の仕方等がわかるよう明記すること。 (2)学習指導案の冒頭に貴校が好事例と判断した理由を簡潔に明記すること ※附属校等の持ち寄る実践については、授業後にその実践についての協議が行われ、成果と課題が明らかになっているものが望ましい。ただし、協議は校内外を問わない。この成果と課題を(2)に代えてもよい。 ※持ち寄る実践の選定にあたっては、「小学校学習指導要領(平成29年告示)解説 国語編」のp.155 [知識及び技能]に関する配慮事項を参考にすること。 ※適切な実践事例が無い場合には、自治体が作成した学習指導案や指導主事が考えた学習指導案でも構わない。(ただし、その旨を冒頭に明記すること) 【協議の進め方】 ・小グループを作り、持ち寄った事例の共有後、学習指導要領の趣旨の実現を図るために、年間の指導を意識した「知識及び技能」(情報の扱い方)について、どのような指導助言を行うべきか協議する。 ・グループで1つの実践を選び、協議の結果を反映した指導助言を学習指導案に書き込む。 ・各グループで指導助言を書き込んだ資料を使って協議報告を行い、各資料は成果として持ち帰り後日全体でも共有する。	
その他部会当日に手元に 用意しておく資料	①	資料名	「指導と評価の一体化」のための学習評価に関する参考資料【小学校 国語】
		用意しておく箇所	資料全体(データでも可)
		インターネットでの掲載場所	https://www.nier.go.jp/kaihatsu/pdf/hyouka/r020326_pri_kokugo.pdf
	②	資料名	小学校学習指導要領(平成29年告示)解説 国語編
		用意しておく箇所	資料全体(データでも可)
		インターネットでの掲載場所	https://www.mext.go.jp/content/20220606-mxt_kyoiku02-100002607_002.pdf

令和6年度小学校及び中学校各教科等担当指導主事連絡協議会
【各部会における協議資料及びその他の提出資料】

小学校 社会部会

協議①		
協議題		小学校社会科・中学校社会科の接続・発展① ― 小学校社会科第6学年 内容(2)「我が国の歴史上の主な事象」の学習の在り方ー
趣旨		小学校社会科第6学年 内容(2)「我が国の歴史上の主な事象」の学習について、学校現場における取組事例を基に、中学校社会科(歴史分野)の学習との違いを意識しながら現状と課題を共有し、その課題の解決策について協議を行うことで、今後の授業改善につなげる。
提出資料		I. 「我が国の歴史上の主な事象ア(ア)～(シ)」の1単元の単元計画(学習問題含む)と本時案(単元の中の1時間) II. 小・中学校社会科における「歴史と人々の生活」の学習に関する質問事項について、アンケートフォームより回答する。
作成様式		I. 別紙様式3 ※共通様式 II. アンケートフォームより回答
提出資料作成に当たっての留意事項		<div>I ・第6学年 内容(2)のア(ア)～(シ)の任意の1単元について、A4判2ページで作成すること。 ・資料には、1. 単元名、2. 単元の目標、3. 単元計画、4. 本時案を記載すること(実際の授業記録は必要なし)。 II 下記URLからアンケート回答フォームにアクセスし、回答すること。なお、本協議会参加者自身の理解で答えていただければ十分であり、本アンケートについて域内の学校に展開することは控えていただきたい。 アンケート回答フォーム : https://forms.office.com/r/2BVaJXJk5i</div> <div>【協議の進め方】 ①提出資料を基に、グループ内で発表と質疑を行う。 ②発表と質疑を基に、小学校の歴史学習の課題についてまとめる。 ③課題の解決に向けて改善策を話し合う。 ④発表し、情報共有する。</div> <div></div>
協議②		
協議題		小学校社会科・中学校社会科の接続・発展② ― 現状や課題と今後の取組ー
趣旨		小学校社会科・中学校社会科の接続・発展について、各都道府県市、附属学校等における状況を踏まえ、学校現場の現状と課題について共有し、今後の授業改善に向けた取組について協議を行うことで、その推進を図る。
提出資料		小学校社会科・中学校社会科の接続・発展に向けた取組に関する質問事項について、アンケートフォームより回答する。
作成様式		アンケートフォームより回答
提出資料作成に当たっての留意事項		<div>下記URLからアンケート回答フォームにアクセスし、回答すること。なお、本協議会参加者自身の理解で答えていただければ十分であり、本アンケートについて域内の学校に展開することは控えていただきたい。 アンケート回答フォーム : https://forms.office.com/r/5FMQVQJz49</div> <div>【協議の進め方】 アンケートの回答結果を基に、グループごとに、授業改善の現状や課題についての情報交換及び、課題に対する今後の取り組みについて協議を行う。協議内容について、発表を通じて全体共有を図る。</div> <div></div>
その他部会当日に手元 用意しておく資料	①	資料名 小学校学習指導要領(平成29年告示)解説 社会編
		用意しておく箇所 資料全体(データでも可)
		インターネットでの掲載場所 https://www.mext.go.jp/content/20230308-mxt_kyoiku02-100002607_003.pdf
	②	資料名 「指導と評価の一体化」のための学習評価に関する参考資料【小学校 社会】
		用意しておく箇所 資料全体(データでも可)
		インターネットでの掲載場所 https://www.nier.go.jp/kaihatsu/pdf/hyouka/r020326_pri_shakai.pdf

令和6年度小学校及び中学校各教科等担当指導主事連絡協議会
【各部会における協議資料及びその他の提出資料】

小学校 算数部会

協議①		
	協議題	小学校算数科における「主体的に学習に取り組む態度」の評価の具体について
	趣旨	・『「指導と評価の一体化」のための学習評価に関する参考資料【小学校算数】』の事例のように、ある学年のある単元における主体的に学習に取り組む評価について、児童の具体的な記述を基に評価した例を示すこと。 ※参考資料には、第五学年の四角形と三角形の面積で事例を示しているため、それ以外の単元とすること。
	提出資料	別紙様式6
	作成様式	・提出資料に関わり、『「指導と評価の一体化」のための参考資料』の事例で示したように、以下の項目を、A4判2ページ程度で示すこと。 単元名・内容のまとめり 1. 単元の目標 2. 単元の評価規準 3. 指導と評価の計画 4. 主体的な学習に取り組む態度の評価の進め方 (1)記録に残す評価を行う時間(①本時の目標、②本時の展開) ※「②本時の展開」については、GIGAスクールや一人一台端末、クラウド活用に必ず触れること。 (2)主体的な学習に取り組む態度の評価の実態(児童の具体的な記述も入れる)
	提出資料作成に当たっての留意事項	【協議の進め方】 GIGAスクールや一人一台端末、クラウド活用が手段として当たり前に使える状況において、算数科における「主体的に学習に取り組む態度」の評価は、どのように進めるといいのかについて、事例を元に具体的に検討し、共通理解を図る。
協議②		
	協議題	小学校算数科における全国学力・学習状況調査の結果を踏まえた指導改善
	趣旨	・小学校算数科において、全国学力・学習状況調査の結果を踏まえ、都道府県・政令市の各域内(附属学校等においては貴校内)の授業改善にどのようにつなげているのか。具体的な政策や教員に配る参考資料などを基に、A4判2ページ以内で項目を立ててまとめること。特に、域内の地域ごとの結果の違いを踏まえた政策については必ず記述すること。
	提出資料	別紙様式3 ※共通様式
	作成様式	・提出資料に関わり、以下の項目で示すこと。 単元名・内容のまとめり 1. 令和5年度の都道府県・政令市における、全国学力・学習状況調査の結果を踏まえた課題と対応 2. 平成19年度から、令和5年度までの全国学力・学習状況調査の結果を踏まえた施策の概要と、その成果。 * 都道府県・政令市独自に学力調査を行っており、全国学力・学習状況調査と連携して指導改善を進めている場合には、都道府県・政令市独自調査の概観についても触れること。
	提出資料作成に当たっての留意事項	【協議の進め方】 ・地域の実態、教員の実態を踏まえて、全国学力・学習状況調査の結果をどのように活かしているのかについて、話し合うことを通して、全国一律に行うことができることと、地域の実態を踏まえて行う方がいいことについて、明確にしておく。 ・地域の実態とは、小学校数が多い少ない、面積が広い狭い、知識・理解と思考力・判断力・表現力等の学力のバランスがとれているとれていない、域内で学力に違いがあるない、などを考慮して記載すること。 ・教員の実態とは、年配の先生・若い先生が多い少ない、専門性がある教員が多い少ない、などを考慮して記載すること。
その他提出資料(協議はしないが、情報共有のみするもの)		
	提出資料	小学校算数科における「個別最適な学び」と「協働的な学び」を一体的に充実する学習指導におけるポイントや留意点
	作成様式	別紙様式3 ※共通様式
	提出資料作成に当たっての留意事項	提出資料の作成に当たっては、「『令和の日本型学校教育』の構築を目指して～全ての子供たちの可能性を引き出す、個別最適な学びと、協働的な学びの実現～(答申)」における個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実を踏まえるようにすること。 ・都道府県・政令市については、域内で、「個別最適な学び」と「協働的な学び」を一体的に充実する学習指導を積極的に行った学校の様子を示すこと。 ・附属学校等については、「個別最適な学び」と「協働的な学び」を一体的に充実する学習指導を行っている事例を示すこと。 ・A4判2ページ程度で作成すること。
その他部会当日に手元に用意しておく資料	①	資料名 小学校学習指導要領(平成29年告示)解説 算数編
		用意しておく箇所 資料全体(データとして手元にあれば、印刷などの必要はない。)
		インターネットでの掲載場所 https://www.mext.go.jp/component/a_menu/education/micro_detail/_icsFiles/afieldfile/2019/03/18/1387017_004.pdf
	②	資料名 「指導と評価の一体化」のための学習評価に関する参考資料【小学校算数】
		用意しておく箇所 資料全体(データとして手元にあれば、印刷などの必要はない。)
		インターネットでの掲載場所 https://www.nier.go.jp/kaihatsu/pdf/hyouka/r020326_pri_sansu.pdf
	③	資料名 「令和の日本型学校教育」の構築を目指して(答申)【本文】
		用意しておく箇所 資料全体(データとして手元にあれば、印刷などの必要はない。)
		インターネットでの掲載場所 https://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/chukyo/chukyo3/079/sonota/1412985_00002.htm

令和6年度小学校及び中学校各教科等担当指導主事連絡協議会 【各部会における協議資料及びその他の提出資料】

小学校 理科部会

協議①		
	協議題	小学校理科で求められる資質・能力の育成に向かう学習指導案への指導助言について
	趣旨	学習指導案に対して、資質・能力の育成に向かう指導助言とはどのようにすればよいのかを協議し、共有することで、今後の指導助言に生かす。
	提出資料	各自治体(又は各附属学校)における小学校理科学習指導案
	作成様式	学習指導案(A4判)もしくは、別紙様式3(※共通様式)に学習指導案の記載内容を転記すること。
	提出資料作成に当たっての留意事項	<p>学習指導案の様式は任意だが、1ページ目の余白(原則として資料上部)に、部会名、都道府県・指定都市名(又は各附属学校名等)及び都道府県・指定都市番号等を記入すること。</p> <p>【協議の進め方】 普段の指導助言を基に、指導助言を行う際の視点について共有し、持参した学習指導案についてその視点で協議する。中間、協議後の2回協議内容について共有する時間を設定し、中間の発表として、どのような視点で学習指導案に指導助言を行うのかを共有し、再度、新たな視点でも学習指導案について協議を行い、協議後、グループごとに協議内容を発表し、全体で共有する。</p>
協議②		
	協議題	小学校理科で求められる資質・能力の育成に向かう指導力を有する教師の育成に向けた取組や、その成果や課題、課題に対して考えられる工夫について
	趣旨	理科で求められる資質・能力の育成に向かう指導力を有する教師の育成に向けた取組について自治体や学校が抱える課題やその解決に向けた工夫について協議することで、取組を見直し、今後の取組に生かす。
	提出資料	各自治体(又は各附属学校等)における小学校理科の指導力を有する教師の育成に向けた取組や、その成果や課題、課題に対して考えられる工夫について。また、その他理科の指導力向上に向けた取組(例:参考資料の作成・配布)について。(附属学校等の場合は自校での取組について)
	作成様式	別紙様式3 ※共通様式
	提出資料作成に当たっての留意事項	<p>・A4判1ページ程度で作成すること。 ・課題に対して考えられる工夫を記載する際には、例えば研修であれば、実施している研修の概要(研修名、希望参加・悉皆研修、参集型・オンライン型、参加実績、講義・演習・授業参観等の形態など、研修の概要を示す)について具体的に記載すること。 ・ウェブサイトで一般に公開している資料があれば、共有できるよう、上記提出資料にURL等を併せて記入すること。</p> <p>【協議の進め方】 グループの自治体・学校における取組を確認し、課題の解決に向けた取り組みになるようにグループ内で協議し、自らの自治体・学校の研修等をグループ内で見直し、ブラッシュアップを行う。協議後は、グループごとにブラッシュアップした内容を発表し、全体で共有する。</p>
その他部会当日に手元に用意しておく資料	①	資料名
		資料名
		資料全体
	②	インターネットでの掲載場所
		資料名
		資料全体
	③	インターネットでの掲載場所
		資料名
		資料全体
	④	インターネットでの掲載場所
		資料名
		資料全体

令和6年度小学校及び中学校各教科等担当指導主事連絡協議会 【各部会における協議資料及びその他の提出資料】

小学校 生活部会

協議①

	協議題	スタートカリキュラムが充実している学校での取組	
	趣旨	各学校では、生活科を中心とした合科的・関連的な指導や弾力的な時間割の設定など、スタートカリキュラムの編成と実施が進められている。より一層、幼児教育と小学校教育の円滑な接続において重要な役割を担うスタートカリキュラムの位置付けを再確認するとともに、「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」との関連を考慮していくことが求められる。	
	提出資料	スタートカリキュラムが充実している学校での取組について、下記の留意事項を踏まえ、A4判1ページ以内でまとめること。	
	作成様式	別紙様式3 ※共通様式	
	提出資料作成に当たっての留意事項	<div>・各都道府県・指定都市において作成し域内市町村教育委員会や学校に対する指導・助言に際し使用した資料等があれば、上記「提出資料」と併せて提出すること。提出にあたっては、1枚目の余白(資料右上部)に、部会名、都道府県・指定都市名(学校名等)及び都道府県・指定都市番号を記入すること。なお、資料が複数ページになる場合であっても必要最小限の資料のみ1つのPDFファイルにとりまとめ、ページ下部中央にページ番号を挿入すること。(様式は任意)</div> <div>・附属学校等については、学校での取組をまとめること。</div> <div>【協議の進め方】</div> <div>・本資料を基に、グループ毎に情報共有した後、スタートカリキュラムが充実している学校での取組について協議を行う。</div>	
その他部会当日に手元に用意しておく資料	①	資料名	小学校学習指導要領(平成29年告示)解説 生活編
		用意しておく箇所	資料全体
		インターネットでの掲載場所	https://www.mext.go.jp/component/a_menu/education/micro_detail/_icsFiles/afieldfile/2019/03/18/1387017_006.pdf
	②	資料名	「指導と評価の一体化」のための学習評価に関する参考資料【小学校 生活】
		用意しておく箇所	資料全体
		インターネットでの掲載場所	https://www.nier.go.jp/kaihatsu/pdf/hyouka/r020326_pri_seikat.pdf
	③	資料名	幼保小の架け橋プログラムの実施に向けての手引き(初版)
		用意しておく箇所	資料全体
		インターネットでの掲載場所	https://www.mext.go.jp/content/20220405-mxt_vouji-000021702_3.pdf
	④	資料名	幼保小の架け橋プログラムの実施に向けての手引きの参考資料(初版)
		用意しておく箇所	資料全体
		インターネットでの掲載場所	https://www.mext.go.jp/content/20220405-mxt_vouji-000021702_4.pdf

令和6年度小学校及び中学校各教科等担当指導主事連絡協議会
【各部会における協議資料及びその他の提出資料】

小学校 音楽部会

協議①			
協議題	小学校音楽科の教育課程の編成に係る成果と課題及びその対応について		
趣旨	小学校音楽科の教育課程の編成に関する説明を行うとともに、小学校音楽科の年間指導計画に係る、各地域における好事例等を共有し、それらから浮かび上がった成果と課題等について協議及び情報交換を行う。		
提出資料	○協議題に係る以下の2点の両方又はいずれかについて具体的に報告するとともに、その成果と課題について考察し記述すること。 (1) 貴管内における年間指導計画の好事例(附属学校等については、学校での年間指導計画等) (2) 貴管内における教育課程の編成に係る研修等での周知や協議の内容(附属学校等については、学校での教育課程の編成に係る協議等の内容)		
作成様式	別紙様式3 ※共通様式		
提出資料作成に当たっての留意事項	A4判2ページ以内に項目を立ててまとめること。 年間指導計画の編成に係る好事例については、過年度のものや、都道府県市で作成したモデル等でもかまわない。 また、教科等横断的な視点や学校段階等間の接続の視点で充実させた取組などが望ましい。 また、参考として都道府県市作成の既存資料があれば提出してもよい。 【協議の進め方】 当日は、グループ内で提出資料の概要を報告し、その内容を基に成果と課題及びその解決に向けた取組について協議する。その後、グループごとに発表し全体で情報共有を行う。		
その他部会当日に用意しておく資料	①	資料名	小学校学習指導要領(平成29年告示)解説 音楽編
		用意しておく箇所	資料全体
		インターネットでの掲載場所	https://www.mext.go.jp/component/a_menu/education/micro_detail/_icsFiles/afieldfile/2019/03/18/1387017_007.pdf
	②	資料名	「指導と評価の一体化」のための学習評価に関する参考資料【小学校 音楽】
		用意しておく箇所	資料全体
		インターネットでの掲載場所	https://www.nier.go.jp/kaihatsu/pdf/hyouka/r020326_pri_ongak.pdf

令和6年度小学校及び中学校各教科等担当指導主事連絡協議会
【各部会における協議資料及びその他の提出資料】

小学校 図画工作部会

協議①			
	協議題		小学校図画工作科における指導計画の作成と実施に関する成果と課題
	趣旨		各都道府県、指定都市において、図画工作科の目標や各学年の目標を目指した指導計画が創意工夫して作成、実施されている状況を振り返り、その成果と課題を共有することを通して、課題解決に向けての方策を協議する。
	提出資料		小学校図画工作科における指導計画の作成と実施に関する成果と課題
	作成様式		別紙様式3 ※共通様式
	提出資料作成に当たっての留意事項		<p>○各都道府県、指定都市における指導計画の作成と実施に関する成果と課題をA4判1～2ページ程度にまとめること。</p> <p>○学習指導要領解説図画工作科編第4章1指導計画作成上の配慮事項(P104～112)を参考に、各管内での実施状況を基に成果と課題を記述する。(附属学校等においては、学校内の取組を基に成果と課題を記述)</p> <p>その際、次の事項が視点となることが考えられる。すべてについて取り上げるのではなく、特徴的なものに絞って記述してもよい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善 ・「A表現」及び「B鑑賞」の関連 ・[共通事項]の取扱い ・「A表現」の(1)、(2)の関連と、指導に配当する授業時数 ・共同してつくりだす活動 ・作品などの特質を踏まえた「B鑑賞」の指導 ・他教科等や幼児教育、道徳科などとの関連 ・障害のある児童などへの指導 <p>※指導・助言の際に使った資料があれば、別添すること。(任意)</p> <p>【協議の進め方】 提出資料をもとに、指導計画作成と実施に関する成果と課題を共有し、課題解決に向けての方策についてグループで協議する。その際、代表者がポイントを1シート(午前と午後の協議を合わせて)に簡潔にまとめる。</p>
その他部会当日に手元に用意しておく資料	①	資料名	小学校学習指導要領(平成29年告示)解説 図画工作編
		用意しておく箇所	資料全体
		インターネットでの掲載場所	https://www.mext.go.jp/component/a_menu/education/micro_detail/_icsFiles/afieldfile/2019/03/18/1387017_008.pdf
	②	資料名	「指導と評価の一体化」のための学習評価に関する参考資料【小学校 図画工作】
		用意しておく箇所	資料全体
		インターネットでの掲載場所	https://www.nier.go.jp/kaihatsu/pdf/hyouka/r020326_pri_zugak.pdf

令和6年度小学校及び中学校各教科等担当指導主事連絡協議会
【各部会における協議資料及びその他の提出資料】

小・中学校 家庭部会

協議①		
協議題	家庭科、家庭分野における資質・能力の育成に向けた今年度の取組について	
趣旨	児童生徒に家庭科、家庭分野における資質・能力を育成するためには、学習指導要領の理解と、それを踏まえた授業改善を進めていく必要がある。そこで、家庭科、家庭分野における学習指導要領の「よりよい実施」に向けた授業改善の現状(成果と課題)を把握し、それを踏まえた上で、指導主事として今年度の指導の方向性を探る。	
提出資料	アンケートフォームより回答 ※その他提出資料はないが、所属する各自治体における家庭科、家庭分野における授業改善の成果と課題を具体的に把握しておく。	
作成様式	なし	
提出資料作成に当たった際の留意事項	<p>グループ分けの参考とするため、以下のURLからアンケートにお答えください。 ※附属学校等の教員の方については、本アンケートへの回答は不要。 アンケート回答フォーム: https://forms.office.com/r/1pK0295Ctb?origin=lpLink</p>  <p>【協議の進め方】 ①事前に把握してきた自身が所属する自治体における授業改善の成果と課題及び行政説明を踏まえ、各自で今年度の指導プラン(指導の方向性)を作成する。附属学校等の教員の方は、自身の授業実践についての改善案を作成する。 ②指導プランを作成している途中で、グループ内でプランを見合い、必要に応じて相談したり、各自のプランを改善したりする。 ③②において、グループ内で困ったり、改善策が見いだせなかった点について全体で共有する。 ④各自が作成したプランを全体で自由に見合い、参加者間で交流したり、共有したりする。 ⑤④を踏まえて、各自プランを完成させる。(※)(いくつかのプランについて発表してもらい、全体で共有する予定) ※完成したプランは持ち帰り、自身で実際に活用する(秋の教育課程研究協議会で中間報告の場を設ける予定)。</p>	
その他部会当日に手元に用意しておく資料	①	資料名
		・小学校学習指導要領(平成29年告示)解説 家庭編 ・中学校学習指導要領(平成29年告示)解説 技術・家庭編
		用意しておく箇所
	②	インターネットでの掲載場所
		小学校: https://www.mext.go.jp/content/20230411-mxt_kyoiku01_09.pdf
		中学校: https://www.mext.go.jp/component/a_menu/education/micro_detail/_icsFiles/afieldfile/2019/03/18/1387018_009.pdf
	③	資料名
		・「指導と評価の一体化」のための学習評価に関する参考資料【小学校 家庭】 ・「指導と評価の一体化」のための学習評価に関する参考資料【中学校 技術・家庭】
		用意しておく箇所
	④	インターネットでの掲載場所
		小学校: https://www.nier.go.jp/kaihatsu/pdf/hyouka/r020326_pri_katei.pdf
		中学校: https://www.nier.go.jp/kaihatsu/pdf/hyouka/r020326_mid_g-giivut.pdf

令和6年度小学校及び中学校各教科等担当指導主事連絡協議会
【各部会における協議資料及びその他の提出資料】

小学校 体育部会

協議①			
	協議題	体育に関する課題解決に向けた取組について	
	趣旨	自治体における体育に関する課題の把握や、他自治体の課題・事例等を共有・協議することを通して、指導主事としての今後の実践や具体的な支援の在り方等につなげる。	
	提出資料	各自治体における体育に関する課題について、下記の4つの【課題の内容】から1～2選び、具体的な取組等をA4判1ページにまとめること。	
	作成様式	別紙様式3 ※共通様式	
	提出資料作成に当たっての留意事項	<p>下記の4つの【課題の内容】から1～2つ選び、《留意事項》を踏まえて作成すること。 (グループ及び全体協議等において、事例の情報共有、課題解決に向けた協議等で資料を活用する)</p> <p>【課題の内容】(カッコ内は例)</p> <p>①体育に関する施策等に関すること(自治体の振興計画 等)</p> <p>②体育の授業に関すること(指導と評価、内容の系統性、ICTの活用、カリキュラム・マネジメント、体育と保健の関連等)</p> <p>③体育の授業以外に関すること(運動習慣の形成、授業以外の体力向上、家庭・地域との連携 等)</p> <p>④研修の在り方に関すること(コロナ以降の実技研修、効果的な研修の在り方 等)</p> <p>※附属校等の参加者については、②または③を選択し資料を作成すること。</p> <p>《留意事項》</p> <p>作成の際は以下の項目について記述すること。</p> <p>①「現状と課題」(なぜこの課題を選択したか、課題を解決することでどのような効果を期待しているか)</p> <p>②「課題に対する取組状況」(現在の進捗状況)</p> <p>③「今後の取組の予定」</p>	
部会当日に手元に用意しておく資料	①	資料名	小学校学習指導要領(平成29年告示)解説 体育編
		用意しておく箇所	資料全体
		インターネットでの掲載場所	https://www.mext.go.jp/component/a_menu/education/micro_detail/_icsFiles/afieldfile/2019/03/18/1387017_010.pdf
	②	資料名	(あれば)自治体で作成している資料や教育委員会等で作成・使用をしている関連資料等
		用意しておく箇所	
		インターネットでの掲載場所	

令和6年度小学校及び中学校各教科等担当指導主事連絡協議会 【各部会における協議資料及びその他の提出資料】

小学校 外国語活動・外国語部会

協議①	
協議題	個に応じた指導の視点を踏まえた、言語活動及び「言語活動を通して指導する」ことの充実について ～「個別最適な学びと、協働的な学びの一体的な充実」の事例をもとに～
趣旨	学習指導要領の総則「第4 児童の発達の支援」の中で、「個に応じた指導」の充実を図ることについて示されている。この「個に応じた指導」の在り方を、より具体的に示した『令和の日本型学校教育』の構築を目指して～全ての子どもたちの可能性を引き出す、個別最適な学びと、協働的な学びの実現～（答申）において、「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実の重要性が示されている。外国語活動・外国語科の授業においても、言語活動及び言語活動を通じた指導の充実を目指し、ICT環境を最大限活用し「個別最適な学び」の成果を「協働的な学び」に生かし、更にその成果を「個別最適な学び」に還元するなど、「個別最適な学び」と「協働的な学び」を一体的に充実していくことが大切である。そこで、言語活動及び「言語活動を通して指導する」ことの充実につながる、「個別最適な学びと、協働的な学びの一体的な充実」について市区町村教育委員会及び学校に対して指導・助言している内容を（附属学校等においては実践する上で大切にしている内容を）、実践事例をもとに協議する。
提出資料	・言語活動及び「言語活動を通して指導する」ことの充実につながっている、「個別最適な学びと、協働的な学びの一体的な充実」が含まれた実践事例 ①単元構想 ②取り上げた実践事例のよさを「個別最適な学び」と「協働的な学び」の視点から簡潔にまとめる ※ICTの活用やALTの参画場面に関することについては記載すること ③言語活動及び「言語活動を通して指導する」ことの充実につながり、「個別最適な学びと、協働的な学びの一体的な充実」の様子が分かる複数の写真もしくは5分～10分程度の動画（任意）
作成様式	①別紙様式7 ②別紙様式3 ※共通様式 ③複数の写真または動画（5～10分程度）（任意） ※複数の写真は①の別紙様式7に貼り付ける。
提出資料作成に当たっての留意事項	②は、A4判1ページ以内でまとめること。 ③実践事例をもとに協議する際に、より具体的に説明ができるよう、写真や動画を提出いただいても構わない。その場合は、指導主事会の資料を、当日参加する指導主事等に事前配布することと、当日、オンライン配信をするため、写真または動画に写っている児童や教師等の許諾を得ること。また教科書等が写っている場合は、著作権の許諾を得ること。許諾が得られない場合は、写真または動画を加工等して提出すること。 ③動画の場合は、ファイルのタイトルを「部会名、都道府県・指定都市名（学校名等）及び都道府県・指定都市番号」を記入し、指定の提出先（BOX：文部科学省クラウドサービスストレージ）にアップロードすること。 【協議の進め方】 ・当日は、グループ内で、実践事例を基に協議する。グループ協議後、全体で交流する。
部会当日までに読んで理解しておく資料	資料名
	①「学習指導要領の趣旨の実現に向けた個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実に関する参考資料」 文部科学省初等中等教育局教育課程課（令和3年3月版） ②『令和の日本型学校教育』の構築を目指して ～全ての子どもたちの可能性を引き出す、個別最適な学びと、協働的な学びの実現～（令和3年1月26日 中央教育審議会答申）（令和3年4月22日更新） ③「学習者用デジタル教科書実践事例集」文部科学省 2022年3月 ④「学習者用デジタル教科書の効果的な活用の在り方等に関するガイドライン」（令和3年3月改訂） ⑤「外国語教育はこう変わる！」文部科学省mextchannel
	用意しておく箇所
	資料全体（データでも可）
	インターネットでの掲載場所
その他部会当日に手元に用意しておく資料	資料名
	小学校学習指導要領（平成29年告示）解説 外国語活動・外国語編
	用意しておく箇所
	資料全体（データでも可）
	インターネットでの掲載場所
	① https://www.mext.go.jp/content/20210428-mxt_kyoiku01-00014639_13.pdf
	② https://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/chukyo/chukyo3/079/sonota/1412985_00002.htm
	③ https://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/kvokukasho/seido/1407731.htm
	④ https://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/chousa/shotou/139/houkoku/1412207_00001.htm
	⑤ https://www.youtube.com/playlist?list=PLGpGsGZ3lmbCsze5PvMhQ1TS-jXEZKA4f
	https://www.mext.go.jp/component/a_menu/education/micro_detail/_icsFiles/afieldfile/2019/03/18/1387017_011.pdf

令和6年度小学校及び中学校各教科等担当指導主事連絡協議会
【各部会における協議資料及びその他の提出資料】

小・中学校 道徳部会

協議			
	協議題	校長の方針の下、道徳教育推進教師を中心に組織的に取り組む道徳教育の展開	
	趣旨	「令和3年度道徳教育実施状況調査」における教育委員会の調査においては、「校長の道徳教育推進に関するマネジメントの差異による学校間の差」「教職経験の浅い教師が道徳教育推進教師となるケースがあるなど、道徳教育推進教師の位置付けや指導・育成・支援が不十分」等が課題であるとの結果が出ている。このような結果を踏まえ、道徳教育推進教師の育成、支援等や組織的に取り組む道徳教育の充実に係る方策等、それらに関わる一人一台端末やクラウドを活用した工夫について、より一層深めることができるように事例などをもとに協議を行う。	
	提出資料	○貴管内における実態(実施状況調査等の全国調査と各都道府県における調査等の比較)を踏まえ、以下の2点について、A4判1ページ程度でまとめること。(附属学校等については学校としての事例と取組)本資料をもとにグループ分けを行い、情報共有した後で協議を行う。 (1)道徳教育推進教師の育成・支援等についての事例 (2)組織的に取り組む道徳教育の充実に向けた事例 ※ある場合には、(1)、(2)に関わる一人一台端末やクラウドを活用した工夫についても明記すること	
	作成様式	別紙様式3 ※共通様式	
	提出資料作成に当たっての留意事項	<ul style="list-style-type: none"> ・各実践事例における授業のねらいや活動の目的及びそれらを達成するための効果的な指導や評価について、その方法が明確になるように留意した上で、別紙様式に沿って資料を作成すること。 ・参考資料等があれば、上記「提出資料」と併せて、A4判2ページ程度で提出すること。その際、1枚目の余白(原則として資料上部)に部会名、都道府県・指定都市名(学校名等)及び、都道府県・指定都市番号を記入すること。(様式は任意) 【その他基本的な留意事項】 ・写真を使用する場合には、顔や名札等の個人を識別することができる情報を隠す等の加工を行うことにより、児童生徒等のプライバシーに十分配慮すること。その際、端末の画面などへの映り込みにも留意すること。 ・学校名や個人名などを明らかにする場合には、事前に許可を得ること。 ・資料は厳選したもののみを提出すること。 【協議の進め方】 ・提出資料をもとにグループ分けをし、そのグループで情報共有した後、協議を行う。 	
その他提出資料(協議はしないが、情報共有のみするもの)			
	提出資料	今年度、道徳教育アーカイブの授業動画の収録に協力いただける「中学校」について(ある場合のみ)	
	作成様式	https://forms.office.com/r/igZ42dPem8	
	提出資料作成に当たっての留意事項	・今年度も道徳教育アーカイブの授業動画撮影に取り組むこととしている。そこで、撮影に協力いただける中学校がある場合には、上記アンケートフォームより回答されたい。(詳細はアンケートフォーム内を確認すること。)	
① その他部会当日に手元に用意しておく資料	資料名	『小学校学習指導要領(平成29年告示)解説 総則編』 『中学校学習指導要領(平成29年告示)解説 総則編』 『小学校学習指導要領(平成29年告示)解説 特別の教科 道徳編』 『中学校学習指導要領(平成29年告示)解説 特別の教科 道徳編』	
	用意しておく箇所	『小学校学習指導要領(平成29年告示)解説 総則編』は、第3章 教育課程の編成及び役割 『中学校学習指導要領(平成29年告示)解説 総則編』は、第3章 教育課程の編成及び役割 『小学校学習指導要領(平成29年告示)解説 特別の教科 道徳編』は、資料全体 『中学校学習指導要領(平成29年告示)解説 特別の教科 道徳編』は、資料全体	
	インターネットでの掲載場所	https://www.mext.go.jp/content/220221-mxt_kyoiku02-100002180_001.pdf	
		https://www.mext.go.jp/content/220221-mxt_kyoiku02-100002180_003.pdf	
		https://www.mext.go.jp/component/a_menu/education/micro_detail/_icsFiles/afieldfile/2019/03/18/1387017_012.pdf	
		https://www.mext.go.jp/component/a_menu/education/micro_detail/_icsFiles/afieldfile/2019/03/18/1387018_011.pdf	
	②	資料名	道徳教育アーカイブ授業動画の事前視聴
		用意しておく箇所	実践事例について(授業映像)
		インターネットでの掲載場所	https://doutoku.mext.go.jp/

令和6年度小学校及び中学校各教科等担当指導主事連絡協議会 【各部会における協議資料及びその他の提出資料】

小・中学校 総合的な学習の時間部会

協議①

協議題	児童生徒が自分で課題を立てることができるようにするための指導の工夫について
趣旨	総合的な学習の時間においては、児童生徒が実社会や実生活に向き合う中で、自ら課題意識をもち、その意識が連続発展することが欠かせない。そのためには、実社会や実生活の中にある解決すべき問題と向き合って、自分で取り組むべき課題を見出していく必要がある。また、その課題は、児童生徒が解決への意欲を高めるとともに、解決への具体的な見通しがもてるものにすることで、そのことが主体的な課題の解決につながっていく。さらに、ICTを効果的に活用することにより、学習課題を具体的にイメージしたり、焦点化したりすることができ、課題解決の見通しをもつことにもつながる。このような課題の設定ができるようにするための指導の工夫について協議する。
提出資料	児童生徒が自分で課題を立てることができるようにするための指導の工夫について、下記留意事項を踏まえ、A4判1ページ程度でまとめること。
作成様式	別紙様式3 ※共通様式
提出資料作成に当たった留意事項	<div>・各都道府県・指定都市において作成し域内市町村教育委員会や学校に対する指導・助言に際し使用した資料等があれば、上記「提出資料」と併せて提出すること。提出にあたっては、1枚目の余白（資料右上部）に、部会名、都道府県・指定都市名（学校名等）及び都道府県・指定都市番号を記入すること。なお、資料が複数ページになる場合であっても必要最小限の資料のみ1つのPDFファイルにとりまとめ、ページ下部中央にページ番号を挿入すること。（様式は任意）</div> <div>・附属学校等については、学校での取組をまとめること。</div> <div>【協議の進め方】</div> <div>・本資料を基に、グループ毎に情報共有した後、児童生徒が自分で課題を立てることができるようにするための指導の工夫について協議を行う。</div>

その他部会当日に手元に用意しておく資料

①	資料名	小学校学習指導要領（平成29年告示）解説 総合的な学習の時間編 中学校学習指導要領（平成29年告示）解説 総合的な学習の時間編
	用意しておく箇所	資料全体
	インターネットでの掲載場所	https://www.mext.go.jp/component/a_menu/education/micro_detail/_icsFiles/afieldfile/2019/03/18/1387017_013_1.pdf https://www.mext.go.jp/component/a_menu/education/micro_detail/_icsFiles/afieldfile/2019/03/18/1387018_012.pdf
	資料名	「指導と評価の一体化」のための学習評価に関する参考資料【小学校 総合的な学習の時間】 「指導と評価の一体化」のための学習評価に関する参考資料【中学校 総合的な学習の時間】
	用意しておく箇所	資料全体
	インターネットでの掲載場所	https://www.nier.go.jp/kaihatsu/pdf/hyouka/r020326_pri_sougo.pdf https://www.nier.go.jp/kaihatsu/pdf/hyouka/r020326_mid_sougo.pdf
	資料名	今、求められる力を高める総合的な学習の時間の展開（小学校編） 今、求められる力を高める総合的な学習の時間の展開（中学校編）
	用意しておく箇所	資料全体
	インターネットでの掲載場所	https://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/sougou/main14_a2.htm

令和6年度小学校及び中学校各教科等担当指導主事連絡協議会
【各部会における協議資料及びその他の提出資料】

小学校 特別活動部会

協議①			
	協議題	学級活動の「特質の違いを踏まえた指導の充実」に向けた教育委員会としての取組の工夫	
	趣旨	学級活動は、特別活動における各活動・学校行事の基盤となるものである。自治的能力を育成する学級活動(1)と、自己指導能力を育成する(2)(3)というように、学級活動(1)と(2)(3)では特質が異なることから、特質の違いを踏まえた指導の充実を図ることが求められる。そこで、学級活動の各活動の「特質の違いを踏まえた指導の充実」に向けた教育委員会としての取組や指導主事としての学校支援の在り方(附属学校等については学校としての取組)について協議する。	
	提出資料	貴管内における学級活動の実態を踏まえ、以下の2点について、それぞれ項目を設けて具体的に記述すること。 (1)学級活動の「特質の違いを踏まえた指導の充実」に係る実践上の課題 (2)課題の解決に向けた教育委員会としての取組及び指導主事としての指導支援(附属学校等については学校としての取組)	
	作成様式	別紙様式3 ※共通様式	
	提出資料作成に当たったの留意事項	<ul style="list-style-type: none"> ・(1)、(2)合わせてA4判2ページ以内とする。 ・(2)は教育委員会としての取組と、指導主事としての学校支援や指導・助言を行う上で重視していることを記入する。管内における学校の好事例がある場合はそれも紹介すること。 ・各都道府県・政令指定都市において作成し、域内市町村教育委員会や学校に対する配布資料や、指導・助言に際して使用したりしている資料があれば、上記「提出資料」とは別に提出する。その際、資料の1ページ目の余白(原則として資料右上部)に部会名、都道府県・指定都市名(学校名等)及び都道府県・指定都市番号を記入する。 ※教育委員会の取組として、教育課程説明会や教育課程研究協議会の実施について書く場合は、具体的な内容や工夫を記載し、講師の紹介にとどまらないようにすること。 ※附属学校等については、学校の取組をまとめる。 <p>【グループ協議の進め方】 協議題について、グループで情報を整理し、具体的な実践上の課題及びその解決に向けた取組を協議する。その後、協議内容を発表し合い、全体で共有する。</p>	
協議②			
	協議題	学級活動(1)のよりよい授業づくりに向けた指導の充実	
	趣旨	自発的、自治的な活動である学級活動(1)は、学級経営や生徒指導の充実に資するものである。学級活動(1)のよりよい授業実践のためには、年間指導計画や指導案を適切に作成することも求められる。そこで、指導案を持ち寄り、指導上の課題や工夫、留意点を確認する。その際、一人一台端末やクラウドを活用した取組等も踏まえ、よりよい授業実践に向けた教育委員会としての方策や指導主事としての学校支援の在り方(附属学校等については学校としての取組)について協議する。	
	提出資料	貴管内における学級活動(1)の実践等の状況や各学校の実態を踏まえ、次の2点について、項目を分けて具体的に記述する。 (1)学級活動(1)の授業づくりや実践上の課題 (2)課題の解決に向けた教育委員会としての取組及び指導主事としての指導、学校支援の在り方(附属学校等については学校としての取組) ※一人一台端末やクラウドを活用した取組がある場合には、工夫や課題、留意点についても明記すること ※提出資料とは別に、学級活動(1)の指導案を持参すること。(学年、議題は問わない) なお、指導案はグループ内で配付する必要はないため、自身の分のみで問題ない。	
	作成様式	別紙様式3 ※共通様式	
	提出資料作成に当たったの留意事項	<ul style="list-style-type: none"> ・(1)、(2)合わせてA4判2ページ以内とする。(指導案や資料については、この中に含まない。) ・各都道府県・政令指定都市において作成し、域内市町村教育委員会や学校に対する配布資料や、指導・助言に際して使用したりしている資料があれば、上記「提出資料」とは別に提出する。 ・学級活動(1)指導案や、教育委員会で作成している資料については、1ページ目の余白(原則として資料右上部)に部会名、都道府県・指定都市名(学校名等)及び都道府県・指定都市番号を記入する。 ※附属学校等については、学校の取組をまとめる。 	
その他提出資料(協議はしないが、情報共有のみするもの)			
	提出資料	特別活動に関する事前アンケート	
	作成様式	https://forms.office.com/r/DjIMRZiZxi	
	提出資料作成に当たったの留意事項	<ul style="list-style-type: none"> ・当日の協議に資するよう、特別活動に関する認識や課題、取組等についての事前アンケートを行うこととする。 ・上記アンケートフォームから回答すること。(回答期限は協議題提出資料と同様) 	
その他部会当日に手元に用意しておく資料	①	資料名	小学校学習指導要領(平成29年告示)解説 特別活動編
		用意しておく箇所	資料全体(データでも可)
		インターネットでの掲載場所	https://www.mext.go.jp/content/20221213-mxt_kyoiku02-100002607_014.pdf
	②	資料名	<ul style="list-style-type: none"> ・特別活動指導資料小学校編(国立教育政策研究所) ・「指導と評価の一体化」のための学習評価に関する参考資料【小学校特別活動】(国立教育政策研究所) ・小学校特別活動映像資料解説パンフレット【学級活動編】(国立教育政策研究所)
		用意しておく箇所	資料全体(データでも可)
		インターネットでの掲載場所	https://www.nier.go.jp/kaihatsu/shidouusyovou.html
	③	資料名	特別活動の指導におけるICTの活用について
		用意しておく箇所	事前の動画視聴
		インターネットでの掲載場所	https://www.bing.com/videos/riview/relatedvideo?&q=ICT%789%b9%e5%88%a5%e6%b4%bb%5e5%8b%95&&mid=01D3FD602E7BBD89DB9E01D3FD602E7BBD89DB9E&&FORM=VRDGAR


令和6年度小学校及び中学校各教科等担当指導主事連絡協議会 【各部会における協議資料及びその他の提出資料】

中学校 国語部会

協議①		
	協議題	学習指導要領を踏まえた中学校国語科の授業づくり ～「読むこと」における「考えの形成」の指導を通して資質・能力の三つの柱の効果的な育成を図る～
	趣旨	中学校学習指導要領の全面実施4年目を迎え、各学校における実施状況を踏まえて「読むこと」の「考えの形成」に位置付けている指導事項に重点を置いて指導する単元の学習指導案を持ち寄って検討することを通して、資質・能力の三つの柱の育成に向けた効果的な指導の在り方を考えるとともに、その実現に向けた学校支援の充実を図る。
	提出資料	「読むこと」の「考えの形成」に位置付けている指導事項に重点を置いて指導する単元の学習指導案 ※担当する学年等については別紙2を参照すること。
	作成様式	別紙様式8
	提出資料作成に当たっての留意事項	<ul style="list-style-type: none"> ・指定の様式(別紙様式8)を用いて、A4判4ページ以内で作成すること。その際、学習指導案の記載の仕方は、『「指導と評価の一体化」のための学習評価に関する参考資料【中学校 国語】』(令和2年3月 国立教育政策研究所)のp.42～p.72に掲載している各事例の《授業例》を参考にすること。 ・「生徒が学習活動に取り組む際」又は「教師が指導と評価の一体化を図る際」に、1人1台端末を効果的に活用することを想定して作成すること。 ・当日の協議①のグループで作成する学習指導案の素案とすることを目的として事前の作成をお願いしているため、当日参加する指導主事等が作成したものを提出すること。 ・前年度と参加者が変わっている場合は、資料の作成に当たり、前年度の本協議会の行政説明資料や各参加者作成資料を確認するとともに、前任の方から情報を得ておくことが望ましい。 <p>【協議の進め方】</p> <p>グループごとに、互いの提出資料のよい点や改善点を確認しながら「学習指導略案」(グループで一つ)の作成に協働的に取り組む。その後、他グループが作成した「学習指導略案」を検討した上で、「読むこと」の「考えの形成」に位置付けている指導事項に重点を置いて指導する単元において、資質・能力の三つの柱の育成に向けた効果的な指導を実現できるようにするための「指導・助言のポイント」をまとめる。なお、「学習指導略案」及び「指導・助言のポイント」の作成・検討は、クラウド上の電子ファイルを共有しながら行う。</p> <p>※参加者には再度追ってご連絡しますが、当日参集いただく方については、パソコン(Googleドキュメントが利用可能なもの。文字入力や閲覧に差し支えがなければタブレット端末等でも可。)を各自ご持参ください。また、ネットワーク環境が準備できる方(ポケットWi-Fiやデザリング)についても、ご負担のない範囲でご準備をお願いいたします。</p>
その他部会当日に手元に用意しておく資料	①	資料名
		資料全体(データでも可)
		インターネットでの掲載場所
	②	資料名
		資料全体(データでも可)
		インターネットでの掲載場所

令和6年度小学校及び中学校各教科等担当指導主事連絡協議会
【各部会における協議資料及びその他の提出資料】

中学校 社会部会

協議①			
協議題	中学校社会科の目標の実現に向けた学習評価の工夫改善について		
趣旨	ねらいとする資質・能力を着実に育成して教科の目標を実現するためには、指導と評価の一体化が必要であり、そのための学習評価の工夫改善が重要である。中学校学習指導要領の実施4年目を迎え、そのよりよい実施に向け、学習評価の工夫改善に向けたこれまでの取組の成果、教育委員会が把握している管下の学校及び附属学校等における学習評価の現状と課題、教育委員会・附属学校等の今後の対応について情報交換を行うことで、教育委員会・附属学校等の今後の対応に資する。		
提出資料	中学校社会科における学習評価の現状と課題及びその対応について		
作成様式	別紙様式3 ※共通様式		
提出資料作成に当たった留意事項	<div>・以下の項目について端的にまとめ、A4判2ページ以内で作成すること。必要に応じ項目を追加しても差し支えない。<div>Ⅰ 教育委員会・附属学校等のこれまでの取組の成果と課題 ((1)成果、(2)課題)</div><div>Ⅱ 各観点の評価の現状と課題 ((1)「知識・技能」の評価、(2)「思考・判断・表現」の評価、(3)「主体的に学習に取り組む態度」の評価)</div><div>Ⅲ 学習評価の工夫改善に向けた教育委員会・附属学校等の今後の対応</div></div> <div>・提出資料に関わって好事例などの資料を添付することも可能である。</div> <div>【協議の進め方】 提出資料についてグループ内で発表と質疑を行う。その後、グループで課題をまとめ、その改善のための教育委員会・附属学校等の対応について協議する。最後に協議のポイント等についていくつかのグループから発表し、情報共有を行う。</div>		
協議②			
協議題	課題を追及、解決する過程におけるICTの効果的な活用について		
趣旨	各都道府県市あるいは附属学校における状況を踏まえて、中学校社会科における「課題を追及、解決する過程におけるICTの効果的な活用」の現状と課題について共有し、効果的な指導助言の方法について検討する。		
提出資料	「課題を追及、解決する過程におけるICTの効果的な活用」についての現状と課題に関する質問事項についてアンケートフォームより回答する。		
作成様式	アンケートフォームより回答		
提出資料作成に当たった留意事項	<div>【協議の進め方】 下記URLからアンケート回答フォームにアクセスし、回答すること。なお、本協議会参加者自身の理解で答えていただければ十分であり、本アンケートについて域内の学校に展開することは控えていただきたい。 アンケート回答フォーム: https://forms.office.com/r/93TUKccqj</div> <div></div> <div>【協議の進め方】 アンケートの回答結果や事例発表を基に、グループごとに、現状と課題についての情報交換及び課題に対する今後の取り組みについて協議を行う。</div>		
その他提出資料（協議はしないが、情報共有のみするもの）			
提出資料	中学校社会科における小学校社会科の内容との関連、分野間の有機的な関連を図った学習指導の現状と課題		
作成様式	別紙様式3 ※共通様式		
提出資料作成に当たった留意事項	<div>（依頼の趣旨） ・中学校社会科の学習においては、「小学校社会科の内容との関連及び各分野相互の有機的な関連を図り、全体として教科の目標が達成できるようにする必要」がある。また、令和5年11月の教育課程研究協議（中学校・社会部会）においては「中学校社会科における各分野の役割やつながりを意識した、社会科の教科や分野の特質を生かした課題を追及したり解決したりする活動の充実」について協議を行った。こうした経緯等を踏まえ、その全国的な実施状況について把握する。</div> <div>（提出資料作成に当たった留意事項） ・小学校社会科の内容との関連、分野間の有機的な関連を図った学習指導の現状と課題等についてA4版1ページ程度で作成すること。 （1）現状、（2）課題 ・提出資料に関わって、小学校社会科や他分野での学習の成果を効果的に活用した学習指導等の好事例などの資料を添付することも可能である。</div>		
その他部会当日に手元に用意しておく資料	①	資料名	中学校学習指導要領（平成29年告示）解説 社会編
		用意しておく箇所	資料全体（データでも可）
		インターネットでの掲載場所	https://www.mext.go.jp/component/a_menu/education/micro_detail/_icsFiles/afieldfile/2019/03/18/1387018_003.pdf
	②	資料名	「指導と評価の一体化」のための学習評価に関する参考資料【中学校 社会】
		用意しておく箇所	資料全体（データでも可）
		インターネットでの掲載場所	https://www.nier.go.jp/kaihatsu/pdf/hyouka/r020326_mid_shakai.pdf

令和6年度小学校及び中学校各教科等担当指導主事連絡協議会 【各部会における協議資料及びその他の提出資料】

中学校 数学部会

協議①			
	協議題	中学校数学科の学習指導における1人1台端末やクラウド等の活用について	
	趣旨	中学校数学科の学習指導(学習評価も含む)における1人1台端末やクラウド等の活用について、実践上の成果と課題及び課題の解決に向けた取組について共有、検討することを通して、指導主事としての今後の学校支援や指導・助言(又は附属学校等における学習指導の改善)に生かすことができるようにする。	
	提出資料	貴管内(又は貴附属学校等)における実態を踏まえ、次の2点について、それぞれ項目を設けて具体的に記述する。 (1)一人一台端末やクラウド等を活用した中学校数学科における学習指導について、実践上の成果と課題 (2)「(1)で挙げた課題」の解決に向けた取組又は指導事例(今後取り組む予定の検討案でもよい)	
	作成様式	別紙様式3 ※共通様式	
	提出資料作成に当たっての留意事項	・(1)、(2)について、それぞれ項目を設けて具体的に記述し、A4判2ページ以内で作成する。 ・各都道府県・指定都市(又は各附属学校等)において作成し域内市町村教育委員会や学校に対する指導・助言に際し使用している資料や、授業実践例の指導計画、指導案など協議題に関連する資料があれば、上記「提出資料」と併せて提出すること。なお、様式は任意で、多くてもA4判5ページ以内とし、1枚目の余白(原則として資料上部)に、都道府県・指定都市名(学校名等)及び都道府県・指定都市番号を記すること。 【協議の進め方】 グループ内で1人1台端末やクラウド等を活用した中学校数学科の学習指導について、成果と課題を共有し、具体的な事例等をもとに協議をしながら、共通する課題や解決を図るためのアイデア等を整理する。	
その他提出資料(協議はしないが、情報共有のみするもの)			
	提出資料	中学校数学科における「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実を目指した事例	
	作成様式	別紙様式3 ※共通様式	
	提出資料作成に当たっての留意事項	・A4判2ページ以内で作成する。 ・提出資料の作成に当たっては、「『令和の日本型学校教育』の構築を目指して～全ての子供たちの可能性を引き出す、個別最適な学びと、協働的な学びの実現～(答申)」における個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実を踏まえるようにすること。	
その他部会当日に手元に用意しておく資料	①	資料名	中学校学習指導要領(平成29年告示)解説 数学編
		用意しておく箇所	資料全体(データとして手元にあれば、印刷などの必要はない。)
		インターネットでの掲載場所	https://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/new-cs/1387016.htm
	②	資料名	「指導と評価の一体化」のための学習評価に関する参考資料【中学校 数学】
		用意しておく箇所	資料全体(データとして手元にあれば、印刷などの必要はない。)
		インターネットでの掲載場所	https://www.nier.go.jp/kaihatsu/shidousiryou.html
	③	資料名	「令和の日本型学校教育」の構築を目指して(答申)【本文】
		用意しておく箇所	資料全体(データとして手元にあれば、印刷などの必要はない。)
		インターネットでの掲載場所	https://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/chukyo/chukyo3/079/sonota/1412985_00002.htm
	④	資料名	令和6年度 全国学力・学習状況調査 解説資料【中学校】数学
		用意しておく箇所	資料全体(データとして手元にあれば、印刷などの必要はない。)
		インターネットでの掲載場所	https://www.nier.go.jp/kaihatsu/zenkokugakuryoku.html ※4月現在では公開されていないが、当日までに公開される予定である。

令和6年度小学校及び中学校各教科等担当指導主事連絡協議会 【各部会における協議資料及びその他の提出資料】

中学校・理科部会

協議①			
	協議題		学習指導要領実施3年間(R3-5)の成果と課題、課題に対する対応について
	趣旨		学習指導要領実施3年間(R3-5)の成果と課題や、課題に対する対応について協議し、各都道府県・政令指定都市(又は各附属学校等)における今後の対応の参考とする。
	提出資料		学習指導要領実施3年間(R3-5)の成果と課題や、課題に対する工夫や手立て、教育委員会(又は各附属学校等)の支援をまとめた資料
	作成様式		別紙様式3 ※共通様式
	提出資料作成に当たっての留意事項		・成果と課題は、主なものをそれぞれ3つ程度挙げる。なお、そのうち1つは、一人一台端末やクラウド等を活用した際の成果や課題とすること。 ・成果と課題を記載する際には、可能な限り、定量的なものやエビデンスに基づく記載とすること。 ・附属学校等については、学校での成果と課題をまとめること。 ・A4判1ページで作成すること。 【協議の進め方】 ・成果と課題、課題に対する対応について、グループ内で協議する。
協議②			
	協議題		提示した学習指導案に対する指導助言について
	趣旨		学習指導案に対して、適切に指導助言ができるようになることを目指し、指導助言の内容を協議する。
	提出資料		提示した学習指導案(別紙3)に対する指導助言の内容をまとめた資料
	作成様式		別紙様式3 ※共通様式
	提出資料作成に当たっての留意事項		・提示した学習指導案(別紙3)について、学習指導要領の趣旨に照らして、次の①及び②については箇条書きで、③については提示した学習指導案の指示に従い示すこと。 ①優れていると考えられる箇所とその理由について ②適切ではないと考えられる箇所とその箇所をどのように修正すれば良いかについて ③5(5)の評価例について ・A4判2ページ以内で作成すること。 【協議の進め方】 ・提示した学習指導案に対する指導助言の内容を協議する。協議した内容をグループごとに発表し、全体で情報を共有する。
その他部会当日に手元に用意しておく資料	①	資料名	中学校学習指導要領(平成29年告示)解説 理科編
		用意しておく箇所	資料全体(データとして手元にあれば、印刷などの必要はない。)
		インターネットでの掲載場所	https://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/new-cs/1387016.htm
	②	資料名	「指導と評価の一体化」のための学習評価に関する参考資料【中学校 理科】
		用意しておく箇所	資料全体(データとして手元にあれば、印刷などの必要はない。)
		インターネットでの掲載場所	https://www.nier.go.jp/kaihatsu/shidousiryoku.html

令和6年度小学校及び中学校各教科等担当指導主事連絡協議会
【各部会における協議資料及びその他の提出資料】

中学校 音楽部会

協議①			
協議題		中学校音楽科の教育課程の編成に係る成果と課題及びその対応について	
趣旨		中学校音楽科の教育課程の編成に関する説明を行うとともに、中学校音楽科の年間指導計画に係る、各地域における好事例等を共有し、それらから浮かび上がった成果と課題等について協議及び情報交換を行う。	
提出資料		○協議題に係る以下の2点の両方又はいずれかについて具体的に報告するとともに、その成果と課題等について考察し記述すること。 (1) 貴管内における年間指導計画の好事例等(附属学校等については、学校での年間指導計画等) (2) 貴管内における教育課程の編成に係る研修等での周知や協議の内容(附属学校等については、学校での教育課程の編成に係る協議等の内容)	
作成様式		別紙様式3 ※共通様式	
提出資料作成に当たっての留意事項		A4判2ページ以内に項目を立ててまとめること。 年間指導計画の編成に係る好事例等については、過年度のものや、都道府県市で作成したモデル等でもかまわない。また、教科等横断的な視点や学校段階等間の接続の視点で充実させた取組などが望ましい。 また、参考として都道府県市作成の既存資料等があれば提出してもよい。 【協議の進め方】 当日は、グループ内で提出資料の概要を報告し、その内容を基に成果と課題及びその解決に向けた取組について協議する。その後、グループごとに発表し全体で情報共有を行う。	
その他部会当日に手元に用意しておく資料	①	資料名	中学校学習指導要領(平成29年告示)解説 音楽編
		用意しておく箇所	資料全体
		インターネットでの掲載場所	https://www.mext.go.jp/content/20220419-mxt_kyoiku02-100002608_06.pdf
	②	資料名	「指導と評価の一体化」のための学習評価に関する参考資料【中学校 音楽】
		用意しておく箇所	資料全体
		インターネットでの掲載場所	https://www.nier.go.jp/kaihatsu/pdf/hyouka/r020326_mid_ongak.pdf

令和6年度小学校及び中学校各教科等担当指導主事連絡協議会
【各部会における協議資料及びその他の提出資料】

中学校 美術部会

協議①			
	協議題		中学校美術科における指導計画の作成と実施に関する成果と課題
	趣旨		各都道府県、指定都市において、中学校美術科の目標や各学年の目標に向けて作成された指導計画の内容や実施についての状況を振り返り、その成果と課題を共有することを通して、課題解決に向けての方策を協議する。
	提出資料		中学校美術科における指導計画の作成と実施に関する成果と課題
	作成様式		別紙様式3 ※共通様式
	提出資料作成に当たっての留意事項		<p>○各都道府県、指定都市における指導計画の作成と実施に関する成果と課題をA4判1～2ページ程度にまとめること。</p> <p>○中学校学習指導要領解説美術編の第4章「1 指導計画作成上の配慮事項」(P.116～124)を参考に、各管内での実施を基に成果と課題を記述する(附属学校等においては、学校内の取組を基に成果と課題を記述)。その際、次の事項が視点となることが考えられる。すべてについて取り上げるのではなく、特徴的なものに絞って記述してもよい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善 ・表現と鑑賞の指導の関連を図る ・〔共通事項〕の取扱い ・第1学年、第2学年及び第3学年の指導計画について ・「A表現」(1)のA及びイと、(2)の関連 ・描く活動とつくる活動 ・「B鑑賞」の授業時数の確保 ・障害のある生徒などへの配慮 ・道徳科との関連 など <p>その他、他教科等との連携なども考えられる。</p> <p>※指導・助言の際に使用した資料があれば、別途添付すること。(任意)</p> <p>【協議の進め方】</p> <p>提出資料をもとに、指導計画の作成と実施に関する成果と課題を共有し、課題解決に向けての方策についてグループで協議する。その際、グループごとに1シートに簡潔にまとめ、発表し全体で情報共有を行う。</p>
その他部会当日に手元に用意しておく資料	①	資料名	中学校学習指導要領(平成29年告示)解説 美術編
		用意しておく箇所	資料全体
		インターネットでの掲載場所	https://www.mext.go.jp/component/a_menu/education/micro_detail/_icsFiles/afieldfile/2019/03/18/1387018_007.pdf
	②	資料名	「指導と評価の一体化」のための学習評価に関する参考資料【中学校 美術】
		用意しておく箇所	資料全体
		インターネットでの掲載場所	https://www.nier.go.jp/kaihatsu/pdf/hyouka/r020326_mid_bijyut.pdf

令和6年度小学校及び中学校各教科等担当指導主事連絡協議会
【各部会における協議資料及びその他の提出資料】

中学校 保健体育部会

協議①			
	協議題	保健体育に関する課題解決に向けた取組について	
	趣旨	自治体における保健体育に関する課題の把握や、他自治体の課題・事例等を共有・協議することを通して、指導主事としての今後の実践や具体的な支援の在り方等につなげる。	
	提出資料	各自治体における体育に関する課題について、下記の4つの【課題の内容】から1～2つ選び、具体的な取組等をA4判1ページにまとめること。	
	作成様式	別紙様式3 ※共通様式	
	提出資料作成に当たっての留意事項	<p>下記の4つの【課題の内容】から1～2つ選び、《留意事項》を踏まえて作成すること。 (グループ及び全体協議等において、事例の情報共有、課題解決に向けた協議等で資料を活用する)</p> <p>【課題の内容】(カッコ内は例)</p> <p>①保健体育に関する施策等に関すること(自治体の振興計画 等)</p> <p>②保健体育の授業に関すること(指導と評価、内容の系統性、ICTの活用、カリキュラム・マネジメント、体育と保健の関連 等)</p> <p>③保健体育の授業以外に関すること(運動習慣の形成、授業以外の体力向上、家庭・地域との連携 等)</p> <p>④研修の在り方に関すること(コロナ以降の実技研修、効果的な研修の在り方 等)</p> <p>※附属学校等の参加者については、②または③を選択し資料を作成すること。</p> <p>《留意事項》</p> <p>作成の際は以下の項目について記述すること。</p> <p>①「現状と課題」(なぜこの課題を選択したか、課題を解決することでどのような効果を期待しているか)</p> <p>②「課題に対する取組状況」(現在の進捗状況)</p> <p>③「今後の取組の予定」</p>	
部会当日に手元に用意しておく資料	①	資料名	中学校学習指導要領(平成29年告示)解説 保健体育編
		用意しておく箇所	資料全体
		インターネットでの掲載場所	https://www.mext.go.jp/content/20210113-mxt_kyoiku01-100002608_1.pdf
	②	資料名	・(あれば)自治体で作成している資料や教育委員会等で作成・使用をしている関連資料等
		用意しておく箇所	
		インターネットでの掲載場所	

令和6年度小学校及び中学校各教科等担当指導主事連絡協議会
【各部会における協議資料及びその他の提出資料】

中学校 技術部会

協議①

協議題	中学校技術・家庭科(技術分野)の指導体制の一層の充実の状況と今後の方策
趣旨	令和6年2月13日発出「中学校技術・家庭科(技術分野)の指導体制の一層の充実について(通知)」を受けて、現在、自治体で取組を始めた、または検討している方策の状況について持ち寄り、情報交換を行うとともに、各自治体の取組や状況の課題について協議し、今後の一層の充実に活かす。
提出資料	次の内容について、記載すること。 ＜自治体(教育委員会指導主事等)の方＞ ①通知を受けて自治体で実施している、もしくは実施予定の指導体制の一層の充実の取組 ②①の取組、もしくは上記通知に記載のことにに関して自治体が抱える、もしくは指導主事として感じている課題 ③②の解決方策の概要(予定も含む) ※その他、必要な事項があれば追記も可能。 ＜附属学校等の教員の方＞ 例えば、広く公開する形で研究発表会を実施しているなど、中学校技術・家庭科(技術分野)の指導の充実に関する取組があれば提出すること(提出は任意)。
作成様式	別紙様式3 ※共通様式
提出資料作成に当たっての留意事項	＜自治体(教育委員会指導主事等)の方＞ ・自治体の方はA4判2ページ程度で作成すること。 ・各都道府県・指定都市において、自治体での取組や課題の解決のため作成し、各部局や教育委員会内、域内市町村教育委員会や学校に対する説明等に使用している資料(取組計画の要綱や概要、ポンチ絵、スケジュール表等)があれば、上記「提出資料」と併せて提出すること(別添資料という。様式任意。資料1枚目の上部に、部会名、都道府県・指定都市名及び都道府県・指定都市番号を記入すること)。なお、この別添資料を提出する場合は、上記①については、箇条書き程度で構わない。 ＜附属学校等の教員の方＞ ・附属学校等の教員の方はA4判1ページ程度で作成すること。 ・提出資料の補足となる資料(研究発表会等で提案した資料等)があれば、上記「提出資料」と併せて提出すること(様式任意。資料上部に、部会名、都道府県・指定都市名及び都道府県・指定都市番号を記入すること)。

協議②

協議題	各項目及び各項目に示す事項の相互に有機的な関連を図った題材の設定及びその充実
趣旨	中学校学習指導要領技術・家庭「第3 指導計画の作成と内容の取扱い」1の(4)では「題材の設定」について記述され、同解説では、技術分野において、例えば内容Cの学習において内容Aや内容Dとの関連を図ることなどが例示されている。そこで、実際の授業実践の様子や考え方について、授業実践者から話を聞いてその感想を共有するとともに、各自治体内での教育課程の適切な実施に活かす。
提出資料	域内及び自身の授業実践における、各項目及び各項目に示す事項の相互に有機的な関連を図った題材、もしくはその授業実践に関する資料があれば提出すること(任意)。 例)授業参観の際に獲得した(又は自身が作成した)題材計画や指導案、授業参観の様子の写真や記録をまとめた資料、適切な題材計画の作成を推進するため、各都道府県・指定都市等において作成し、域内市町村教育委員会や学校に対する指導・助言に際し使用している指導資料や研修資料
作成様式	任意様式
提出資料作成に当たっての留意事項	・学習指導要領(平成29年告示)解説技術・家庭編P.124～125、及び、文部科学省教育課程課より令和6年3月に周知した中学校技術・家庭科(技術分野)事例集について事前に確認し、参加すること。 ・提出資料を作成する際には、上記事例集のように、1人1台端末の活用を前提とした例が好ましい。 ・資料1ページ目の上部に、部会名、都道府県・指定都市名(学校名等)及び都道府県・指定都市番号を記入すること。

その他部会当日に手元に用意しておく資料	①	資料名	中学校学習指導要領(平成29年度告示)解説 技術・家庭編
		用意しておく箇所	手持ち(各自の手持ちの端末で確認できる状況でも可)
		インターネットでの掲載場所	https://www.mext.go.jp/component/a_menu/education/micro_detail/_icsFiles/afieldfile/2019/03/18/1387018_009.pdf
	②	資料名	「指導と評価の一体化」のための学習評価に関する参考資料 中学校 技術・家庭
		用意しておく箇所	手持ち(各自の手持ちの端末で確認できる状況でも可)
		インターネットでの掲載場所	https://www.nier.go.jp/kaihatsu/pdf/hvouka/r020326_mid_g-giyut.pdf
	③	資料名	中学校技術・家庭科(技術分野)事例集
		用意しておく箇所	手持ち(各自の手持ちの端末で確認できる状況でも可)、ただし「2. 中学校技術・家庭(技術分野)のねらいの実現を目指して」の説明資料(PDF:1,174KB)は特に扱わない
		インターネットでの掲載場所	https://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/new-cs/senseioun/mext_02685.html

令和6年度小学校及び中学校各教科等担当指導主事連絡協議会
【各部会における協議資料及びその他の提出資料】

中学校 外国語部会

協議①	
協議題	「言語活動を通して指導する」ことの充実に向けた指導・助言の改善に向けて
趣旨	<p>学習指導要領では、言語活動を通してコミュニケーションを図る資質・能力を育成することが求められている。解説には、『外国語で表現し伝え合う』ためには、適切な言語材料を活用し、思考・判断して情報を整理するとともに、自分の考えなどを形成、再構築することが重要である」とも記されている。</p> <p>つまり、「言語活動を通して指導する」ことは、</p> <p>(1):適切な言語材料を活用するための指導(理解したり練習したりする活動を含む)</p> <p>(2):思考、判断して情報を整理し自分の考えなどを形成し再構築できるための指導</p> <p>といった2つの側面からの指導が必要であるということである。</p> <p>そこで、この2つの側面からの指導の必要性を確認しつつ、よりよい指導・助言について(附属学校等においては、当該学校で取り組んでいる内容)、実践事例をもとに具体的に協議する。</p>
提出資料	<p>各自治体(附属学校等)が課題と捉えている領域について、「言語活動を通して指導する」ことが、2つの側面:(1)適切な言語材料を活用するための指導(理解したり練習したりする活動を含む)、(2)思考、判断して情報を整理し自分の考えなどを形成し再構築できるための指導)から指導され、単位時間もしくは単元目標達成に向けて取り組んだことが分かる実践事例</p> <p>①単元目標及び指導計画 ※スライドに合わせて</p> <p>②取り上げた実践事例において、「言語活動を通して指導する」ことに対して指導・助言した内容 (附属学校等においては、当該学校で取り組んでいる内容)</p> <p>※ICTの活用やALTの参画場面に関する指導・助言については記載すること</p> <p>③2つの側面から言語活動を通して指導している具体の様子が分かる、複数の写真(任意)</p>
作成様式	<p>①別紙様式9</p> <p>②別紙様式3 ※共通様式</p> <p>③複数の写真(任意)</p> <p>※複数の写真は①の別紙様式9に貼り付ける。</p>
提出資料作成に当たっての留意事項	<p>①各自治体(附属学校等)が課題と捉えている領域について、全国学力・学習状況調査等からの根拠を当日話せるようにまとめておくこと。</p> <p>②ご自身が実際に行った指導・助言(附属学校等においては、当該学校で取り組んでいる内容)について、A4判1ページ以内でまとめる。</p> <p>※業務上、指導・助言に行くことができていない場合は、自治体内の指導主事が行ったものも可とする。その場合は、「初めて指導主事になったので/他の指導主事が行ったので分からない」とならないよう、授業の内容や指導助言の内容を確認しておくこと。</p> <p>③実践事例をもとに具体的に説明ができるよう、写真を載せても構わない。その場合は、指導主事会の資料を、当日参加する指導主事等に事前配布することと、当日、オンライン配信をするため、写真に写っている生徒や教師等の許諾を得ること。また教科書等が写っている場合は、著作権の許諾を得ること。許諾が得られない場合は、写真を加工等して提出すること。</p> <p>【協議の進め方】</p> <p>・当日は、グループ内で、実践事例を基に協議する。グループ協議後、全体で交流する。</p>
読んで部会当日までにおく資料	資料名
	用意しておく箇所
	インターネットでの掲載場所
その他部会当日に手元用意しておく資料	資料名
	用意しておく箇所
	インターネットでの掲載場所

令和6年度小学校及び中学校各教科等担当指導主事連絡協議会 【各部会における協議資料及びその他の提出資料】

中学校 特別活動部会

協議①		
	協議題	生徒の自発的、自治的な活動の効果的な展開
	趣旨	学習指導要領では、学級活動及び生徒会活動の指導について、指導内容の特質に応じて、教師の適切な指導の下に、生徒の自発的、自治的な活動が効果的に展開されるようにすることとされている。また、その際、よりよい生活を築くために自分たちでできまりをつくって守る活動などを充実するよう工夫することも求められている。そこで、生徒の自発的、自治的な活動の基本となる学級活動(1)を中心とした、活動の効果的な展開の工夫について、教育委員会としての取組や指導主事として学校支援の在り方(附属学校等については学校としての取組)について協議する。
	提出資料	令和5年度の学校での実践を踏まえ、教育委員会として配布した資料や実施した研修会、創意工夫された学校での実践事例について、「生徒の自発的、自治的な活動の効果的な展開」をテーマにA4判2ページ以内でまとめること。
	作成様式	別紙様式3 ※共通様式
	提出資料作成に当たった際の留意事項	各都道府県・指定都市において作成し域内市町村教育委員会や学校に対する指導・助言に際し使用している資料があれば、上記「提出資料」と併せてA4判2ページ以内で提出すること。 附属学校等については学校の取組についてまとめること。 ※資料提出に当たって、1枚目の余白(資料右上)に部会名、都道府県・指定都市名(学校名等)及び、都道府県・指定都市番号を、ページ下部中央にページ番号を記入する。(様式は任意) 【協議の進め方】 協議題について、グループで情報を整理し、趣旨に沿って協議する。グループごとに発表し、全体で情報共有を行う。
協議②		
	協議題	中学校における学級活動(3)の指導の工夫
	趣旨	学習指導要領では、小学校の学級活動に「(3)一人一人のキャリア形成と自己実現」を新設し、中学校、高等学校においても、学級活動、ホームルーム活動(3)を「一人一人のキャリア形成と自己実現」とすることで、キャリア教育の視点から小・中・高等学校等のつながりが明確になるようにしている。そこで、中学校における学級活動(3)における指導の工夫について、貴管内の生徒に育成を目指す資質・能力を明確にした上で実践上の課題、並びに課題の解決に向けた教育委員会としての取組、一人一台端末、クラウドなど、ICT活用の有効性等について共有し、教育委員会としての方策や指導主事としての学校支援の在り方(附属学校等については学校としての取組)について協議する。
	提出資料	○貴管内における実態を踏まえ、以下の2点について、それぞれ項目を設けて具体的に記述すること。 (1)中学校における学級活動(3)の指導上の課題 (2)課題の解決に向けた教育委員会としての取組、好事例 ※ある場合には、一人一台端末やクラウドを活用した工夫、課題や留意点についても明記すること
	作成様式	別紙様式3 ※共通様式
	提出資料作成に当たった際の留意事項	各都道府県・指定都市において作成し域内市町村教育委員会や学校に対する指導・助言に際し使用している資料があれば、上記「提出資料」と併せてA4判2ページ以内で提出すること。 附属学校等については学校の取組についてまとめること。 ※資料提出にあたって、1枚目の余白(資料右上)に部会名、都道府県・指定都市名(学校名等)及び、都道府県・指定都市番号を、ページ下部中央にページ番号を記入すること。(様式は任意) 【協議の進め方】 協議題について、グループで情報を整理し、趣旨に沿って協議する。グループごとに発表し、全体で情報共有を行う。
その他部会当日に手元に用意しておく資料	①	資料名 中学校学習指導要領(平成29年告示)解説 特別活動編
		用意しておく箇所 資料全体(データでも可)
		インターネットでの掲載場所 https://www.mext.go.jp/content/20230208-mxt_kyoiku02-100002608_013.pdf
	②	資料名 ・「指導と評価の一体化」のための学習評価に関する参考資料【中学校 特別活動】 ・「指導と評価の一体化」のための学習評価に関する参考資料【高等学校 特別活動】
		用意しておく箇所 資料全体(データでも可)
		インターネットでの掲載場所 ・ https://www.nier.go.jp/kaihatsu/pdf/hyouka/r020326_mid_tokubetsuk.pdf ・ https://www.nier.go.jp/kaihatsu/pdf/hyouka/r030820_hig_tokubetsuk.pdf
	③	資料名 特別活動の指導におけるICTの活用について
		用意しておく箇所 事前の動画視聴
		インターネットでの掲載場所 https://www.bing.com/videos/riverview/relatedvideo?g=ICT%789%b%9e%588%5e6%4%bb%e%58%95&mid=01D3FD602E7BBD89DB9E01D3FD602E7BBD89DB9E&FORM=VRDGR

教育課程の編成・実施や授業づくりにおいて、教師に影響を与える要素と西妻門のつながり



重点的な課題に対するさらなる改善策

【別紙２】中学校 国語部会 協議①

番号	都道府県市名	担当する学年
1	北海道	1 年
2	青森県	2 年
3	岩手県	3 年
4	宮城県	1 年
5	秋田県	2 年
6	山形県	3 年
7	福島県	1 年
8	茨城県	2 年
9	栃木県	3 年
10	群馬県	1 年
11	埼玉県	2 年
12	千葉県	3 年
13	東京都	1 年
14	神奈川県	2 年
15	新潟県	3 年
16	富山県	1 年
17	石川県	2 年
18	福井県	3 年
19	山梨県	1 年
20	長野県	2 年
21	岐阜県	3 年
22	静岡県	1 年
23	愛知県	2 年

番号	都道府県市名	担当する学年
24	三重県	3 年
25	滋賀県	1 年
26	京都府	2 年
27	大阪府	3 年
28	兵庫県	1 年
29	奈良県	2 年
30	和歌山県	3 年
31	鳥取県	1 年
32	島根県	2 年
33	岡山県	3 年
34	広島県	1 年
35	山口県	2 年
36	徳島県	3 年
37	香川県	1 年
38	愛媛県	2 年
39	高知県	3 年
40	福岡県	1 年
41	佐賀県	2 年
42	長崎県	3 年
43	熊本県	1 年
44	大分県	2 年
45	宮崎県	3 年
46	鹿児島県	1 年

番号	都道府県市名	担当する学年
47	沖縄県	2 年
48	札幌市	3 年
49	仙台市	1 年
50	さいたま市	2 年
51	千葉市	3 年
52	川崎市	1 年
53	横浜市	2 年
54	相模原市	3 年
55	新潟市	1 年
56	静岡市	2 年
57	浜松市	3 年
58	名古屋市	1 年
59	京都市	2 年
60	大阪市	3 年
61	堺市	1 年
62	神戸市	2 年
63	岡山市	3 年
64	広島市	1 年
65	北九州市	2 年
66	福岡市	3 年
67	熊本市	1 年

※担当する学年に応じて、現在使用している教科書に掲載されている次の文章を主たる教材として指導することを想定して提出資料を作成すること（どの教科書の文章を用いてもよい）。なお、他の文章等を補助的な教材として用いてもよい。

第 1 学年……「少年の日の思い出」

第 2 学年……「走れメロス」

第 3 学年……「故郷」

※国立・公立大学法人附属学校及び私立学校については、学校が所在する都道府県市に割り当てられている学年を担当すること。

例 1）北海道教育大学附属札幌中学校の場合…札幌市が担当する学年（3 年）

例 2）北海道教育大学附属函館中学校の場合…北海道が担当する学年（1 年）

中学校理科学習指導案

1 単元名

- (1) 内容のまとまり 第2学年第2分野 (4) 気象とその変化
 (2) 単元名 (ア) 気象観測

2 単元の目標

- (1) 気象要素（気温，湿度，気圧，風向など）の変化と天気との関係などについて理解すること。
 (2) 気象観測について，見通しをもって観察，実験などを行い，その結果を分析して解釈し，天気の変化についての規則性や関係性を見いだして表現すること。
 (3) 気象観測に関する事物・現象に興味・関心をもつこと。

3 単元の評価規準

知識及び技能	思考力・判断力・表現力	主体的に学習に取り組む態度
気象要素（気温，湿度，気圧，風向など）の変化と天気との関係などについて理解し，知識を身に付けている。	気象観測について，見通しをもって解決する方法を立案して観察，実験などを行い，その結果を分析して解釈し，天気の変化についての規則性や関係性を見いだして表現しているなど，科学的に探究している。	気象観測に関する事物・現象に進んで関わり，見通しをもったり、振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。

※本指導案では，生徒観や指導観などの記述については省略する。

4 指導と評価の計画（7時間）

時間	ねらい・学習活動	重点	記録	備考
1	・気象は私たちの生活とどのようにかわりがあるか，日常生活をもとに振り返る。	態	○	・気象について，興味・関心をもとうとしている。〔行動観察〕
2	・主な気象要素である，気温，湿度，気圧，風向，風速について，その測定法や表し方を理解する。	知		・主な気象要素について，その測定方法や表し方を理解している。
3	・圧力についての実験を行い，圧力は力の大きさと面積に関係があることを理解する。	思		・力を受ける面積が変われば，同じ大きさの力でも，一定の面積を押す力の大きさが変わってくることを理解している。
4	・圧力容器中の空気を放出する実験や，空き缶を大気圧による力でへこませる実験を行い，空気に重さがあることを見いだして表現する。	思	○	・実験結果から，空気には重さがあることを見いだして表現している。〔記述分析〕
5	・気象要素間の関係を見いだすために，気象観測の場所や器具，期間，間隔について観測の計画を立て，観測の準備を行う。 (次の授業までに気象観測を行う。)	知		・気象観測を行う場所や時間間隔について，理解している。
6	・学校内において実施した気象観測の記録を整理し，グラフ等にまとめる。	知	○	・気象観測の結果を，グラフや表などに正しくまとめることができている。〔記述分析〕
7	・学校内で行った気象観測の記録や，アメダスなどの気象情報を分析，解釈し，気象要素と天気変化の間に関係があることを見いだす。	思	○	・気温や湿度，気圧，風向，風速と天気の変化の間には，どのような関係があるか見いだして表現している。〔記述分析〕

5 本時（第4時）の学習

（1）本時のねらい

圧力容器中の空気を放出する実験や、空き缶を大気圧による力でへこませる実験を行い、空気に重さがあることを見いだして表現する。

（2）評価規準

「思考・判断・表現」

実験結果から、空気には重さがあることを見いだして表現している。

（3）評価のポイント

実験結果から、空気には重さがあることを見いだして表現しているかどうかを、ワークシートの記述から評価する。

（4）指導と評価の流れ

学習場面	生徒の学習活動	学習活動における具体的評価規準	評価方法
導入	・前時の学習内容の復習をする。	・レンガの置き方を変えた場合の圧力の違いについて、正しく理解している。	小テスト
	課題：空気には重さがあるのだろうか。		
展開	・空気には重さがあるのか、事前に予想する。 ・圧力容器に詰まった空気を大気中に放出して、その前後の質量を測定する実験を行う。（実験1） ・空き缶にはたらく大気圧の演示実験をみる。（実験2） ・実験を行った結果から、空気には重さがあることをどのようにして分かったかまとめる。	・2つの実験の結果をもとに、空気には重さがあることを見いだして表現している。	ワークシート
まとめ	・空気には重さがあることの根拠について、自分の考えを発表させ、対話を通して考えを深めさせる。	・自分の考えを適切に表現している。	行動観察

(5) 「思考・判断・表現」の評価例

ここでは、ワークシートの記述を分析することにより、評価を行う。

<ワークシートの例>

考察 空気には重さがあるか。2つの実験結果をふまえ、その理由も答えなさい。

【これ以降は、指導主事等の参加者に記入いただく。】

【評価Bの例】

(評価Bとする基準を記入してください)

このことから、思考・判断・表現の観点で「おおむね満足できる」状況（B）と判断できる。

「おおむね満足できる」状況（B）と判断される記述例を記入する

【評価Aの例】

(評価Bとする基準を記入してください)

このことから、思考・判断・表現の観点で「十分満足できる」状況（A）と判断できる。

「十分満足できる」状況（A）と判断される記述例を記入する

【評価Cの例】

(評価Bとする基準を記入してください)

このことから、思考・判断・表現の観点で「努力を要する」状況（C）と判断できる。

「努力を要する」状況（C）と判断される記述例を記入する